

科目名	SES100: 基礎ゼミナール		担当教員	平野 幸治, 丹木 博一, 森下 園, 宮崎 幸江, 杉村 美佳, 岩崎 明子, 河北 祐子
開講期	春	分類	必修	
単位	2	標準受講年次	1年	

担当教員の 連絡情報	担当教員	研究室	オフィスアワー	連絡先
	平野 幸治	4210	水 2 限・3 限、木 2~4 限	
	丹木 博一	4214	月 3 限、金 2 限	
	森下 園	4202	(春学期) (秋学期) 水 3 限、木 4 限、金 5 限	
	宮崎 幸江	4217	月 5 限、火 3 限	
	杉村 美佳	4220	(春学期) 水 5 限、金 2 限・5 限 (秋学期) 火 5 限、金 5 限	
	岩崎 明子	4213	(春学期) 火 3・4 限 (秋学期) 月・木 5 限	
	河北 祐子	4号館2階 講師控室	授業前後	

キーワード	導入教育、自立と自律、大学生としての学び、プレゼンテーションの方法、ノートの取り方、進路、小論文の書き方、研究倫理
授業の概要	本学の教育理念である“Women for others, with others”を目指す学生生活への導入となる授業です。大学での学びに必要なアカデミックスキルを身につけ、将来のキャリア形成を視野に入れた大学生活のプランをたてていきます。
達成目標	大学での自律した学びに必要なアカデミックスキルが身につきます。具体的には、さまざまな分野の問題を論じるために必要となる専門的な情報や知識をどのように得て、プレゼンテーションや小論文としてどのように発信していくかを実践しながら学びます。また大学生が知っておくべき研究倫理についても学びます。
到達目標	学生同士のディスカッション、プレゼンテーションを中心に日本語での発信力を磨きます。また、同時期に開講される専任教員によるショートレクチャーや教員の小論文を用いて、ノートテイキング技術や要約の仕方、小論文の書き方を実践的に身につけます。
評価方法	課題：6%×6回=36%、ショートレクチャーのノートテイキング：4%×3回=12%、プレゼンテーション：22%（発表15%、司会7%）、小論文作成：30%。
評価基準	課題：提出期限・内容と書式の遵守で6点、遅れた場合（翌日午後5時まで、以後は受け付けない）マイナス3点、内容または書式が守られていない場合はマイナス2点、ノートテイキング：3つのレクチャーについてきちんとノートをとっている4点、そうでない2点、プレゼンテーション：内容が整理されていて、聞き手にむけて顔をあげてきちんと話している15点、内容・提示資料が整理されていない、顔をあげてきちんと話していない場合は各マイナス5点、司会：質問が適切で顔をあげてきちんと話す7点、質問が不適切、きちんと話していない場合は各マイナス2点、小論文は論点が明確でパラグラフライティングができており、書式・提出期限を守れば30点、論点・パラグラフライティングが不完全、書式・提出期限を守っていない場合は各マイナス10点となる。なお、欠席した回の課題は提出しても採点対象とはしない。
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	ガイダンス — 「他者のために、他者とともに生きる」ために、アカデミックスキルと研究倫理について	テキスト1章講読、自己紹介、グループディスカッション	本学の三つのポリシーとテキストの学長先生のメッセージを読む
2	自己を知り、自己を確立する — 自主と自律、履修計画、人間学を学ぶ意義 ポートフォリオで自主的な学修	テキスト2章講読、グループディスカッション	テキスト3章講読、
3	世界に目を向け、異文化に心を開く — 多文化共生社会でのボランティア活動への招き	DVD視聴、グループディスカッション	テキスト4章講読、課題① 視聴DVD内容の要約
4	学ぶ姿勢を見直そう — 大学での学び、ノートの取り方のコツ、スケジュール管理、インターネット・SNS利用上の留意点	ノートテイキング、グループディスカッション	テキスト5章講読、課題② 視聴DVD内容の要約400字、 ショートレクチャー出席
5	最初の一歩を踏みだそう — 質問の仕方、レポート作成時の注意事項、プレゼンの準備、研究倫理について	DVD視聴、グループディスカッション、 質疑応答	テキスト6章講読、課題③ 視聴DVD内容の要約400字
6	文章のパラグラフ構造 — 要約と文章の中心文	DVD視聴、グループディスカッション	視聴DVD論点整理、ショートレクチャー出席、プレゼンテーションの準備
7	ゼミ選択と進路選択 — 卒業までの計画、進路決定のために何をするか + プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト7章講読、課題④ ショートレクチャー出席、 パラグラフライティング、 プレゼンテーションの準備
8	編入への道 — 編入試験の概要、進学のために何をすべきか + プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト8章講読、プレゼンテーションの準備、ゼミ説明会出席
9	就職への道 — 働くとはどういうことか、企業は学生に何を求めているのか + プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト9章講読、プレゼンテーションの準備
10	女性のキャリアとライフコース — 働く女性の状況、あなたのライフプラン + プレゼンテーション	DVD視聴、グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト10章講読、課題⑤ 視聴DVDの内容要約、 プレゼンテーションの準備
11	キャリア・パスを考える — なぜ進学/就職するのか、理由を説明する + プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト11章講読、進路について考えてくる、 プレゼンテーションの準備
12	将来の夢を実現するためのリサーチ — 進路別のグループでリサーチプランを作成	グループディスカッション、情報収集の仕方	テキスト12章講読、小論文のためのリサーチ
13	論点をまとめる — リサーチしたことをグループでシェア、小論文の骨組みをつくる	グループディスカッション、アウトライン作成	テキスト13章講読、小論文のためのリサーチ
14	小論文を書く — 先行研究や得た情報を踏まえてメイン・パラグラフを作成、学修ポートフォリオの書き方	小論文の相互チェック、講評	課題⑥小論文のアウトライン作成、学修ポートフォリオの用紙をダウンロードしてくる
15	引用の仕方、情報リテラシー、小論文の仕上げ、学修ポートフォリオ記入	引用・註についての説明、グループワーク	テキスト14章、15章講読 小論文作成

テキスト	上智大学短期大学部編『Essentials — A Guide to Finding the Right Career Path for You』
参考書	小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書)
その他 特記事項	授業時間外に全専任教員による90分のショートレクチャーが3回ある。出席して取ったノートを提出すること。日時・場所・レクチャータイトルについては初回授業でお知らせします。

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	永野 良博
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4218	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	現代アメリカ文学、Ernest Hemingway、冰山理論、個人の確立、家族、共同体						
授業の概要	アメリカの作家 Ernest Hemingway による文学作品とそれらに関する研究書・論文を読み、小説の研究に必要な基礎的な知識を身に付けてゆく。多くを語らない抑制された文章を読み、創造的に主題を読み取る。扱われる主題は、個人の確立、家族、友人・恋人、生と死、戦争、伝統とそこからの脱却、社会的マイノリティとの関係、文明と自然、ジェンダー、身体論等。授業では学生同士そして教員との意見交換が中心となる。						
達成目標	文学作品の登場人物の心理と人間関係を読み取る能力を身に付ける。そしてそれらをより広い社会や歴史上の問題と関連させて考え、口頭及び文章において論じることが出来るようになる。様々な研究主題とそれらが持つ重要性を理解し、そこから独自の文学論を形成してゆき、最終的には、人間性と社会に関して新たな発見をする。						
到達目標	文学作品とそれらに関する本・論文からメモを取ることから始めて、文学的主题の発見と研究方法の基礎を身に付ける。作品と先行研究を十分に理解し、それらに関する自分の意見を発展させて研究ノートにまとめ、主題を設定し、論文作成に向けた訓練を行う。また日々の気付きと研究成果について、討論を重ね、発展させる。さらに最終的な研究の成果を効果的に口頭発表する。						
評価方法	授業参加 (40%)、研究ノート (30%)、論文 (20%)、論文発表 (10%)						
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み理解し、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を発表出来ること。研究ノートでは先行研究に関する十分な理解を示し、それに対する自分独自の意見の記述をする。論文では以上の成果を基に明確で論理的な文学論を書く。論文の発表では、口頭での明確な意見の発表と共に、十分な質疑応答が出来るよう、発表内容に関する補足説明事項や発展的な考えを準備する。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Ernest Hemingway 初期短編導入 冰山理論と作品読解に向けて	講義、質疑応答	“The Doctor and the Doctor’s Wife” を読む
2	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 父と母、科学と宗教、倫理的行為	意見交換	“The Doctor...,” 研究書・論文を読む
3	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 悪の拒絶、異人種との共存	意見交換	“The Doctor...,” 研究書・論文を読む
4	“Soldier’s Home” 失われた世代、破壊と日常、破壊と文明	意見交換	“Soldier’s Home,” 研究書・論文を読む
5	“Soldier’s Home” 虚偽の人生、愛の喪失、伝統的共同体	意見交換	“Soldier’s Home,” 研究書・論文を読む
6	“Cat in the Rain” 他者の欲望と自己の欲望、夫婦の危機	意見交換	“Cat in the Rain,” 研究書・論文を読む
7	“Cat in the Rain” 髪を伸ばすこと、猫が表すもの、父権制	意見交換	“Cat in the Rain,” 研究書・論文を読む
8	“Indian Camp” 生と死、通過儀礼、マイノリティ女性身体	意見交換	“Indian Camp,” 研究書・論文を読む
9	“Indian Camp” 自然・文明・テクノロジー、論文作成法、大学生の研究倫理	意見交換	“Indian Camp,” 研究書・論文を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	“End of Something” 未成熟な恋愛、時間について	意見交換	“End of Something,” 研究書・論文を読む
11	“End of Something” ハードボイルド的文体、男性間の連帯と女性	意見交換	“End of Something,” 研究書・論文を読む
12	“Fathers and Sons” 空虚な自己と個人主義、父と子	意見交換	“Fathers and Sons,” 研究書・論文を読む
13	研究発表	口頭発表と質疑応答	発表原稿作成
14	研究発表	口頭発表と質疑応答	発表原稿作成
15	研究発表 リフレクションタイム	口頭発表と質疑応答 意見交換	発表原稿・学修ポートフォリオ作成
テキスト	Ernest Hemingway. <i>The Complete Short Stories of Ernest Hemingway</i> (Scribners). アーネスト・ヘミングウェイ『われらの時代・男だけの世界』(新潮文庫) Hemingwayに関する研究書・論文		

科目名	SES200: ゼミナールI					担当教員	永野 良博
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4218	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	現代アメリカ小説、フィクションと現実の再構築、英文読解、小説へのアプローチ						
授業の概要	20世紀後半アメリカのポストモダニズムを代表する Kurt Vonnegut と John Barth を中心とする作家の作品と、それらに関連する資料を読み、小説の研究に必要な知識をつけてゆく。既存の現実の表象の在り方に疑問を投げ掛け、フィクションの力で現実を再構築する様子を学ぶ。作品理解を深め、独自の主題の発見をし、精読により英文読解能力の向上を目指す。学生同士の議論そして学生による研究発表が中心となる。						
達成目標	文学作品の登場人物の心理と彼等の社会・歴史との複雑な関係を読み取る能力を身に付ける。また様々な文学的テーマへの理解を深め、それらを文学研究者たちがどのように論じ、人間性の発見へと繋げてきたのか理解する。文学作品の読み取り方、文学に関する研究論文の書き方を習得する。同時に発表力、質問力、そして意見交換を通じた建設的な議論実行力を身に付ける。文学の英文を読み解く。						
到達目標	登場人物の考えや行動について理解を深め、彼等を取り巻く世界について、出来るだけ多くの主題を読み取り、独自の主題発見へと繋げる。他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点・可能性について知り、さらなる議論の向上を目指す。独自の文学論作成を行い発表する。英語による文学の読解を通して英語読解力を伸ばす。						
評価方法	授業参加（文学作品に関する議論及び英文読解）（40%）、論文（40%）、研究発表（20%）						
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で提示出来ること。また他人の意見に対して建設的な意見を与えられること。論文作成では、文学的テーマの発見力、独自の意見の構築力、論理的議論発展力が求められる。発表は主題を適切にまとめたレジュメを基に行い、質問に対して、周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要。英文読解では文学作品の英文の正確な理解が必要である。						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	【Kurt Vonnegut, <i>Slaughterhouse-Five</i> 】 時間の中の彷徨、時間と死の概念	資料講読、意見交換	小説第1章 ハンドアウト pp.1-3
2	第二次世界大戦、少年期再訪、復讐、死の予告	資料講読、意見交換	小説第2章 - 3章 ハンドアウト pp.4-6
3	決定論と自由意志、個人の歴史への係り、宇宙の終末、予定説	資料講読、意見交換	小説第4章 - 5章 ハンドアウト pp.7-9
4	カルヴィニズム、ナチスへの徹底抗戦、不条理な死、ドレスデン爆撃の記憶	資料講読、意見交換	小説第6章 - 7章 ハンドアウト pp.10-12
5	飛行機墜落事故と不条理な死、妻への愛、空想科学小説、自己と世界の再創造	資料講読、意見交換	小説第8章 - 9章 ハンドアウト pp.13-16
6	主題分析まとめ、論文作成法、大学生の研究倫理	資料講読、講義、意見交換	小説第10章 ハンドアウト p.17
7	【John Barth, <i>The End of the Road</i> 】 自己喪失、選択不可能状態	資料講読、意見交換	小説第1章 - 3章 ハンドアウト pp.18-20
8	実存主義、相対主義的世界に関する議論、内在的価値の否定	資料講読、意見交換	小説第4章 - 5章 ハンドアウト pp.21-23
9	個人が独自の価値観と視点を持ち一貫性を保持すること、愚かさに関する議論	資料講読、意見交換	小説第6章 - 7章 ハンドアウト pp.24-26

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	古き自己の放棄、個人の独自性、真正なる個人、姦通と動機の不在	資料講読、意見交換	小説第8章 - 9章 ハンドアウト pp.27-29
11	神話療法、原因の探求、行動の結果への責任、個人と主体、主題分析まとめ	資料講読、意見交換	小説第10章 - 12章 ハンドアウト pp.30-34
12	研究発表	発表、質疑応答	研究発表準備
13	研究発表	発表、質疑応答	研究発表準備
14	研究発表	発表、質疑応答	研究発表準備
15	研究発表、リフレクションタイム	発表、質疑応答、意見交換	研究発表・学修ポートフォリオ準備

テキスト	Kurt Vonnegut. <i>Slaughterhouse 5</i> (Dell). カート・ヴォネガット『スローターハウス5』(ハヤカワ書房) John Barth. <i>The End of the Road</i> (Anchor). ジョン・バース『旅路の果て』(白水社) ハンドアウト
------	--

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	永野 良博
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4218	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	現代アメリカ小説、フィクションと現実の再構築、英文読解、小説へのアプローチ						
授業の概要	20 世紀後半アメリカのポストモダニズムを代表する Thomas Pynchon と Don DeLillo を中心とする作家の作品と、それらに関連する資料を読み、小説の研究に必要な知識をつけてゆく。既存の現実の表象の在り方に疑問を投げ掛け、フィクションの力で現実を再構築する様子を学ぶ。作品理解を深め、独自の主題の発見をし、精読により英文読解能力の向上を目指す。学生同士の議論そして学生による研究発表が中心となる。						
達成目標	文学作品の登場人物の心理と彼等の社会・歴史との複雑な関係を読み取る能力を身に付ける。また様々な文学的テーマへの理解を深め、それらを文学研究者たちがどのように論じ、人間性の発見へと繋げてきたのか理解する。春学期に修得した知識を活かし、より幅広く研究・調査を行い、自らの研究主題を発展させる。そして学期末に充実した研究論文を提出する。文学の英文を読み解く。						
到達目標	登場人物の考えや行動について理解を深め、彼等を取り巻く世界について、出来るだけ多くの主題を読み取り、独自の主題発見へと繋げる。他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点・可能性について知り、さらなる議論の向上を目指す。独自の文学論作成を行い発表し、充実した研究論文を提出する。英語による文学の読解を通して英語読解力を伸ばす。						
評価方法	授業参加（文学作品に関する議論及び英文読解）（30%）、論文（50%）、研究発表（20%）						
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で提示出来ること。また他人の意見に対して建設的な意見を与えられること。論文作成では、文学的テーマの発見力、独自の意見の構築力、論理的議論発展力、そして人間性や社会・歴史等についての新たな発見が求められる。発表は主題を適切にまとめたレジュメを基に行い、質問に対して、周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要である。英文読解では文学作品の英文の正確な理解が必要。						
準備学修の時間	本科目の一回（90 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	【Thomas Pynchon, <i>The Crying of Lot 49</i> 】 囚われた女性、虚空、世界を織る	資料講読、意見交換	小説第 1 章 - 2 章 ハンドアウト pp.35-38
2	啓示への期待、謎の郵便・通信システム、情報のコントロール	資料講読、意見交換	小説第 3 章 ハンドアウト pp.39-41
3	亡き兵士達の遺骨、密使の悲劇、歴史の闇、周辺性、異端性	資料講読、意見交換	小説第 4 章 - 5 章 ハンドアウト pp.42-44
4	エントロピー、マックスウエルの悪魔、別世界によるこの世界への侵入	資料講読、意見交換	小説第 4 章 - 5 章 ハンドアウト pp.45-47
5	ポストモダニズム、疎外された人々、メタファーの役割	資料講読、意見交換	小説第 6 章 ハンドアウト pp.48-50
6	相続権を失いし者達の組織、Epiphany を待ちながら、主題分析まとめ	資料講読、意見交換	小説第 6 章 ハンドアウト pp.51-53
7	【Don DeLillo, <i>White Noise</i> 】 富、消費、リスク、死、科学技術と環境汚染	資料講読、意見交換	小説第 1 章 - 13 章 ハンドアウト pp.54-57
8	アメリカで最も写真撮影が行われた納屋、媒介された知覚とオーラ	資料講読、意見交換	小説第 14 章 - 20 章 ハンドアウト pp.58-60

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	消費、消費者の実存的クレジット、死、畏怖、独立した生を持つ現代の死	資料講読、意見交換	小説第21章 ハンドアウト pp.61-63
10	テクノロジー、超国家的名前、超越への願望、死の恐怖を取り除く薬	資料講読、意見交換	小説第22章 - 28章 ハンドアウト pp.64-66
11	ヒットラーに魅了、死への恐怖と独裁者による支配への願望、主題分析まとめ	資料講読、意見交換	小説第29章 - 40章 ハンドアウト pp.67-70
12	研究発表、大学生の研究倫理	発表、質疑応答	研究発表準備
13	研究発表	発表、質疑応答	研究発表準備
14	研究発表	発表、質疑応答	研究発表準備
15	研究発表、リフレクションタイム	発表、質疑応答、意見交換	研究発表・学修ポートフォリオ準備
テキスト	Thomas Pynchon. <i>The Crying of Lot 49</i> (Vintage). トマス・ピンチョン『競売ナンバー49の叫び』(筑摩書房) Don DeLillo. <i>White Noise</i> (Picador). ドン・デリロ『ホワイト・ノイズ』(集英社、絶版) ハンドアウト		

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	平野 幸治
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4210	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	曖昧さ (ambiguity)、成熟 (maturity)、不寛容 (intolerance)、和解 (reconciliation)						
授業の概要	<p>プレゼミでは 20 世紀の前半のイギリス作家 E.M. フォスターの作品を取り上げ、文学研究の専門用語と概念が理解できるように授業を展開する。テキストや DVD を使用して分析のポイントを考察し、特にプロット展開とどう結びつくのかを理解する。小グループに分かれて、文学研究や作品研究の方法や読者としての主体性の在り方を討論し、学期末にはグループワークによる成果を協力して発表する。</p>						
達成目標	<p>学生は、E.M. フォスターの小説『ハワーズ・エンド』と『眺めの良い部屋』、批評『小説の諸相』から、文学研究の専門用語と概念が理解できることを主眼に、特に彼の作品の持つ個性性と汎用性に着目し、小グループに分かれて互いに意見を出し合い、彼の作品の今日的意義について討議する。また William Shakespeare の作品を用いて、専門研究の知識と手順の手がかりを身につけ、学期末にはグループワークをする。</p>						
到達目標	<p>①学期末に学生は、作品の要約や意見が的確な日本語で書けるようになる。②グループで意見を出し合い、自分の意見を相対化することができるようになる。③グループワークによって研究の知識と手順の手がかりを身につけ、グループで発表できるようになる。④研究者としての倫理を踏まえ引用を用いた 3,000 字程度の日本語のレポートが書けるようになる。発問の仕方、作品研究の方法と英文学の知識を獲得できる。</p>						
評価方法	<p>①毎回の授業で回収する課題の要約や意見を日本語で述べる観点 (2%×15 回=30%)。②グループ・ディスカッション終了時にフォームにグループ内の書記が記入し、その成果を発表する観点 (5%×4 回=20%)。③グループワークの成果をプレゼンテーション (10 分程度の発表) する観点 (10%×2 回=20%) ④各自の発表を研究者としての倫理を踏まえたレポート (3,000 字程度の日本語の文章) を学期末に提出する観点 (30% : レポート 20%+アブストラクト提出 10%)。</p>						
評価基準	評価基準の詳細は授業の初回時に説明します。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	イントロダクション: E.M. フォスターの文学的意義と research について	講義とプロット・サマリーの説明	プリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
2	E.M. フォスターの作品研究『ハワーズ・エンド』: 描写の「曖昧さ」の意義	講義とプロット・サマリーの説明	プリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
3	E.M. フォスターの作品研究『ハワーズ・エンド』: 描写の「曖昧さ」の多様性	②-1 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
4	作品研究『ハワーズ・エンド』: 登場人物内面の変化	講義とプロット・サマリーの説明	プリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
5	作品研究『ハワーズ・エンド』: 登場人物の内面の展開	②-2 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
6	作品研究『ハワーズ・エンド』のグループ発表	③-1 グループ・ワークの発表と講評	発表のためのノートの整理
7	E.M. フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』: 語り手の「曖昧さ」の意義	講義とプロット・サマリーの説明	プリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
8	E.M. フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』: 語り手の「曖昧さ」の多義性	②-3 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	E.M. フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』: 語り手の「曖昧さ」の効果	講義とプロット・サマリーの説明	プリントの下調べおよびDVDを視聴しておく
10	作品研究『眺めの良い部屋』: 登場人物の内面の変化と展開	②-4 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
11	作品研究に基づく比喻とプロットの相関性および研究者の倫理構築と plagiarism	講義とプロット・サマリーの説明	ノートの整理とレジユメの下調べと資料整理
12	E.M. フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』のグループ発表	③-2 発表と質疑応答	発表原稿の整理とレジユメの作成
13	E.M. フォスターの小説と『小説の諸相』の相関性	講義とレポートの回収	③レポートの作成と資料整理
14	William Shakespeare の作品研究	講義とグループワーク	ノートの整理とレジユメの下調べと資料整理
15	レポート返却およびリフレクションタイムとポートフォリオ記入	ディスカッションと講評	レポート提出およびポートフォリオ記入のための準備
テキスト	Stanley Wells. <i>William Shakespeare: A Very Short Introduction</i> (OUP). プリント配布		
参考書	河合祥一郎『シェイクスピア: 人生劇場の達人』(中公新書) <i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>		

科目名	SES200: ゼミナール I					担当教員	平野 幸治
開講期	春	開講時限	水 4 限	研究室	4210	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	曖昧さ (ambiguity)、比喩 (metaphor)、共感 (empathy)、和解 (reconciliation)						
授業の概要	文学研究の専門用語が理解できるように、現代のイギリス作家 Kazuo Ishiguro の作品研究の成果を活かし、彼の作品の持つ個性と汎用性を考慮して授業を展開する。テキストを使用して分析のポイントを考察し、特にプロット展開とどう結びつくのかを理解する。また小グループに分かれて文学研究や作品研究の方法や読者としての主体性の在り方を討論し、学期末にはグループワークによる成果を協力して発表する。						
達成目標	学生は、Kazuo Ishiguro の文学作品『日の名残り』、『私を離さないで』、『忘れられた巨人』から、文学研究の専門用語と概念が理解できるようになる。特に彼の作品の持つ個性と汎用性に着目し、小グループに分かれて互いに意見を出し合い、彼の作品の今日的意義について討議する。また William Shakespeare の作品を用いて、専門研究の知識と手順の手がかりを身につけ、学期末にはグループで発表する準備をする。						
到達目標	学期末には学生は、プロット・サマリーや DVD の視聴に基づいて作品についてグループディスカッションや 10 分程度の発表ができるようになる。他者の意見を聞くことによって自己の考えを相対化し、意見を修正し、その成果に基づいて十分な具体例や作品からの引用を用いて論理的に 3,000 語程度の日本語の文章が書けるようになる。						
評価方法	毎回の授業の終了時に回収する Shuttle card に授業に関する質問や意見をきちんとした日本語で述べる (2%×15 回=30%)。グループ・ディスカッション終了時に専用フォームにグループ内の書記が記入しその成果を発表する (5%×5 回=25%)。グループワークの成果をプレゼンテーションする (25%)。グループ・ワークのプレゼンテーションをした後で、各自の発表のレポートを学期末に提出する (20%)。						
評価基準	評価基準の詳細は授業の初回時に説明します。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	イントロダクション: 授業の進め方と Kazuo Ishiguro の文学的意義について	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
2	Kazuo Ishiguro の作品研究『日の名残り』: 語り手の「曖昧さ」の意義と効果	①グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
3	Kazuo Ishiguro の作品研究『日の名残り』: 登場人物の内面の変化と展開	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
4	Kazuo Ishiguro の作品研究『日の名残り』: 登場人物の内面の変化と展開	②グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
5	Kazuo Ishiguro の作品『日の名残り』のグループ発表	発表と質疑応答	発表原稿の整理
6	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』: 語り手の「曖昧さ」の意義と効果	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
7	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』: 登場人物の内面の変化と展開	③グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
8	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』: 登場人物の内面の変化と展開	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
9	Kazuo Ishiguro の『私を離さないで』のグループ発表	発表と質疑応答	発表原稿の整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	Kazuo Ishiguro の作品研究『忘れられた巨人』: 語り手の「曖昧さ」の意義と効果	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べをしておく
11	Kazuo Ishiguro の作品研究『忘れられた巨人』: 登場人物の内面の変化と展開	④グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
12	Kazuo Ishiguro の作品研究『忘れられた巨人』: 登場人物の内面の変化と展開	⑤グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
13	Kazuo Ishiguro の『忘れられた巨人』のグループ発表	発表と質疑応答	発表原稿の整理
14	William Shakespeare の作品のグループ発表の準備と研究倫理や plagiarism について	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べをしておく
15	ゼミ論作成の手引きおよびリフレクションタイムとポートフォリオ記入	講義とディスカッション	レポート提出およびポートフォリオ記入のための準備
テキスト	J. Bate. <i>English Literature: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press). また適宜プリントを配布する		
参考書	D. ロッジ、柴田元幸・斉藤兆史訳『小説の技巧』(白水社) S. Barnet & W. Cain. <i>A Short Guide to Writing about Literature</i> (Pearson).		

科目名	SES300: ゼミナールII					担当教員	平野 幸治
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4210	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	ambiguity (曖昧さ), metaphor (比喩), intolerance (不寛容さ), catharsis (浄化)						
授業の概要	前半は、William Shakespeareの劇を取り上げて、文学研究の専門用語と概念が理解できるように授業を展開する。悲劇として <i>Othello</i> 、喜劇は <i>A Midsummer Night's Dream</i> を扱い、グループでそれぞれの劇のテーマと演出の効果についてディスカッションをする。後半は、 <i>The Hours</i> を取り上げて、映像と文学の観点から考察する。学期末にはゼミ論を完成し、口頭発表をする。発問の仕方、回答の仕方と文学の知識を日常的に検証する。						
達成目標	学期前半はゼミナールIで獲得した文学研究の方法論を William Shakespeare の劇の考察に応用し、劇のテーマと演出の効果についてグループで討議し発表してもらう。普遍性と固有性について Shakespeare を理解する。後半は、映像と文学という観点から <i>The Hours</i> を扱い、Virginia Woolf という作家の問題意識と先進性に焦点を当てる。学生の知的興味を刺激して、期末にはゼミ論を完成し、口頭発表ができるよう指導する。						
到達目標	学期末に学生は、ゼミ論を完成し、発表ができるようになる。Shakespeare の特徴が理解でき、Virginia Woolf の問題意識と先進性を把握し、映像と小説の相違を理解したうえで、①ディスカッションによって問題意識と発問のスキルを獲得できるようになる。②グループで発表できるようになる。③研究者としての倫理を踏まえ 5,000 字の論文が書けるようになる。④発問の仕方、知識を検証する習慣が身に付くようになる。						
評価方法	①ディスカッション終了時に専用フォームにグループ内の書記が記入しその成果を発表する (5%×4回=20%)。②学期末にグループワークの成果をプレゼンテーションする (25%:発表 15%+レジュメ提出 10%)。③研究者としての倫理を踏まえた論文 (5,000 字程度の日本語) を学期末に提出 (25%:アウトライン報告 5%+ゼミ論の中間発表 5%+提出 15%)。④毎回の授業の終了時に回収する Shuttle card に授業に関する質問や意見をきちんとした英語で述べる (2%×15回=30%)。						
評価基準	評価基準は授業の初回に詳しく説明します。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	William Shakespeare の悲劇 <i>Othello</i> と喜劇 <i>As You Like It</i> の研究意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリントの下調べおよびDVDの視聴
2	悲劇 <i>Othello</i> の作品研究の方向性について	①-1 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
3	喜劇 <i>As You Like It</i> の作品研究の方向性について	①-2 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
4	<i>Othello</i> と <i>As You Like It</i> の作品研究 (1) と③ゼミ論のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
5	<i>Othello</i> と <i>As You Like It</i> の作品研究 (2) と③ゼミ論のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
6	<i>Othello</i> と <i>As You Like It</i> の作品研究 (3) と③ゼミ論のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
7	③ゼミ論のアウトライン報告と研究者としての倫理構築と plagiarism	発表と質疑応答および講義	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
8	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の作品研究の相関性について	講義とプロット・サマリーの説明	プリントの下調べおよびDVDの視聴

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	③ゼミ論の中間発表(全員)	発表と質疑応答および講義	発表用の原稿作成と資料整理
10	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の研究(1)	講義とプロット・サマリーの説明	プリントの下調べおよびDVDの視聴
11	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の研究(2)	①-3 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
12	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の研究(3)	講義とプロット・サマリーの説明	プリントの下調べおよびDVDの視聴
13	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の研究(4)	①-4 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
14	②グループワークの成果の発表	発表と質疑応答	②グループワークの発表の準備およびレジュメ作成
15	グループワークの成果の講評およびリフレクションタイムとポートフォリオ記入	発表の講評と講義および③ゼミ論の回収	③ゼミ論の提出準備とポートフォリオ記入の準備
テキスト	Stanley Wells. <i>Shakespeare: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press). 喜志哲雄『シェイクスピアのたくらみ』(岩波新書)		
参考書	D. ロッジ、柴田元幸・斉藤兆史訳『小説の技巧』(白水社) S. Barnet & W. Cain. <i>A Short Guide to Writing about Literature</i> (Pearson).		

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	丹木 博一
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4214	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、幸福、自由、価値						
授業の概要	人間のいのちについてどのような問いや関心が自分のうちに息づいているかをはっきりと自覚し、その問いを哲学的に練り上げ、考察した内容を分かりやすくグループ発表ができるようにする。ディスカッションを通して各自の研究テーマを明確にし、そのテーマについてどうすれば考えを推し進めていくことができるかを学ぶ。						
達成目標	哲学及び倫理学の分野における基礎的な研究姿勢を養うことが達成目標である。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 互いにディスカッションを通して、理解を深めていく醍醐味を味わうことができる。 文献検索の方法や文献読解の手順を学び、問題を提起し探求する姿勢を身につける。 グループのメンバーと協力して発表を準備し、研究発表の手法を学ぶ。 自分の研究テーマについて小論文の形で論述展開することができる。 						
評価方法	授業毎の課題 (15%)、授業参画 (15%)、グループ発表 (20%)、期末課題 (2,500 字以上のレポート) (50%)						
評価基準	<p>授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。</p> <p>授業参画：毎回の授業中の意見交換に積極的に参加しているかどうか。</p> <p>グループ発表：グループワークを通して研究関心を練り上げ、問いを提起し、その問いについて適切な文献を選び、それを正確に読解した上で、その内容の紹介とグループによる独自の考察を加えて、分かりやすく発表できるかどうか。</p> <p>期末課題：複数の参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて問いを提起し、先行研究を理解した上で、理由を挙げて自分の考えを論じることができるかどうか。</p>						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション	講義 自己紹介	自己紹介の準備。夏休み課題 (ブックノート) の提出
2	研究方法の紹介・文献検索及び文献読解の方法・研究倫理	講義	教科書第 1 章を読む。研究関心をまとめる。
3	各自の関心の確認とグループ分け	講義・グループ分け グループ作業	自分の研究関心に叶う文献を探し書誌データを記す。
4	グループごとの研究テーマの練り上げ テキスト批評の仕方を学ぶ	講義 グループ作業	教科書第 2 章を読む。
5	文献講読とテキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	事前に配布した資料を批判的に読み込み、まとめる。
6	研究事例の紹介 グループ発表の仕方についての説明	講義 グループ作業	グループごとに研究計画を提出する。
7	グループ発表についての事前確認と質疑応答・2 年生の研究発表の見学	講義 2 年生との合同授業	グループごとに研究の概要を提示する。
8	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
9	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
11	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
12	グループ発表の振り返り 個人研究への導入	講義・小論文作成の エクササイズ	個人研究のテーマと問題意識をまとめる。
13	研究レポート(小論文)作成の手順を学ぶ	講義・小論文作成の エクササイズ	教科書第3章を読む。小論文の構成を模式図にする。
14	研究レポート	講義・小論文作成の エクササイズ	授業の2日後に期末課題提出
15	研究課題についてのフィードバック・リフレクションタイム	講義 リフレクション・アンケート	ポートフォリオ提出

テキスト	河野哲也『レポート・論文の書き方入門』(慶應義塾大学出版会)
参考書	内田樹『こんな日本でよかったね』(文春文庫) 丹木博一『いのちの生成とケアリング』(ナカニシヤ出版)
その他 特記事項	問題意識をもって主体的に授業に参画することを求める。発表前には担当教員と事前に入念な打ち合わせを行うこと。

科目名	SES200: ゼミナールI					担当教員	丹木 博一
開講期	春	開講時限	水 4 限	研究室	4214	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳、幸福、自由、価値						
授業の概要	哲学及び倫理学の分野に関する諸問題について、学生が自らテーマを選び、研究を進める。各自がブックレポートを 2 回行い、互いにディスカッションを通して、テーマに関する理解を深めていく。この積み重ねによって、研究方法と発表方法を学び、文献読解、問題提起、論述の論理展開、討論に関する基礎力を身につける。						
達成目標	哲学及び倫理学における基本的な研究能力を身につけることが達成目標である。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回の授業において建設的に問いを提起し、討論を繰り広げることができる。 ・ 哲学及び倫理学の分野のなかから自ら問いを立て、研究的に追究することができる。 ・ 研究に必要な文献を探して的確に読解し、理解内容を表現する力を身につける。 ・ 文献を批判的に読解し、自らの考えの軌跡を研究論文の形に仕上げることができる。 						
評価方法	授業毎の課題 (15%)、授業参画 (15%)、ブックレポート (20%)、小論文 (4,000 字以上) (50%)						
評価基準	<p>授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。</p> <p>授業参画：積極的に授業に参加し、議論の深化発展に寄与できるかどうか。</p> <p>ブックレポート：自らの問いを練り上げ、その問いに関する適切な研究文献を選び、その文献を正確に読解し、理解内容を分かりやすく表現するとともに、批判的に吟味し、自身の意見を提示できるかどうか。</p> <p>小論文：自らの思考の軌跡を、研究論文の形式に仕上げ、分かりやすく論述できるかどうか。</p>						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション・文献検索の方法・テキスト批評の方法	講義	春休みの宿題 (ブックノート) の提出
2	ブックレポートの方法・小論文の書き方・研究倫理	講義 ディスカッション	研究テーマについてのアンケート提出・文献検索
3	文献講読とテキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①第 1 章を読み、概要を要約する。
4	文献講読とテキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①第 2 章を読み、概要を要約する。
5	文献講読とテキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①第 3 章を読み、概要を要約する。
6	文献講読とテキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①第 4 章を読み、概要を要約する。
7	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
8	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
9	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
11	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
12	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
13	論文作成のエクササイズ	講義 エクササイズ	教科書②第3章を読み、小論文の構成を考える。
14	論文作成のエクササイズ	講義 エクササイズ	授業の2日後に小論文提出
15	小論文についてのフィードバック・リフレクションタイム	講義 ディスカッション	ポートフォリオ提出

テキスト	①山内志朗『小さな倫理学入門』(慶応義塾大学出版会) ②河野哲也『レポート・論文の書き方入門』(慶應義塾大学出版会)
参考書	内田樹『昭和のエートス』(文春文庫) 丹木博一『いのちの生成とケアリング』(ナカニシヤ出版)
その他 特記事項	問題意識をもって主体的に授業に参画することを求める。発表前には担当教員と事前に入念な打ち合わせを行うこと。

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	丹木 博一
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4214	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳、幸福、自由、価値						
授業の概要	自らが選んだ研究テーマをさらに絞り込み、ゼミナール I の研究発表において確認した各自の課題を解決することができるように、さらに研究を進めていく。各自一回研究発表を行い、時間をかけて議論をし、テーマに関する理解を深め、足りない点を自覚しながら、最終的に首尾一貫した研究論文を作成する。						
達成目標	哲学及び倫理学の分野における研究発表能力及び論文作成能力を身につけることが達成目標である。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業において建設的に問いを提起し、討論を繰り広げることができる。 ・自らが提起した問いを研究的に追究し、幅広い文献読解に基づいて、説得力のある研究発表を行う力を身につける。 ・他の学生からの問いに応答する力を養い、適切な批判であればそれを受け入れ、粘り強く自らの論考を練り直し、説得力のある研究論文の形に仕上げることができる。 						
評価方法	授業毎の課題 (15%)、授業参画 (15%)、研究発表 (20%)、ゼミ論文 (10,000 字以上) (50%)						
評価基準	<p>授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。</p> <p>授業参画：授業中のディスカッションに積極的に参加し、議論の創造的発展に寄与できるかどうか。</p> <p>研究発表：自身の哲学的・倫理的な問いを練り上げ、先行研究を踏まえて、その問いに説得力のある回答を与えようと努めた成果を、分かりやすく発表できるかどうか。</p> <p>ゼミ論文：自分が提起した哲学的・倫理的な問いについて、多様な議論に耳を傾けながら自分の立場を提示し、その妥当性について理由を挙げて論述できるかどうか。</p>						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション・研究能力育成のためのエクササイズ・研究倫理	講義・ディスカッション・エクササイズ	夏休みの課題 (ブックノート) 提出
2	文献講読とテキスト批評のエクササイズ	講義・ディスカッション・エクササイズ	研究テーマ提出・教科書①第 1 章を読み要約する。
3	文献講読とテキスト批評のエクササイズ	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書①第 2 章を読み要約する。
4	文献講読とテキスト批評のエクササイズ	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書①第 3 章を読み要約する。
5	文献講読とテキスト批評のエクササイズ	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書①第 4 章を読み要約する。
6	研究発表の方法とゼミ論文作成の手順	講義・エクササイズ	教科書②の第 3 章以下すべてを読む。
7	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ブックレポート提出
8	研究発表	講義 ディスカッション	発表準備 ブックレポート提出
9	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ブックレポート提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ブックレポート提出
11	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ブックレポート提出
12	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ブックレポート提出
13	研究発表の振り返り ゼミ論文の書き方	講義 エクササイズ	ゼミ論文初校提出
14	ゼミ論文初校についての講評 よりよい論文にするためのエクササイズ	講義 エクササイズ	ゼミ論文への加筆修正
15	まとめ・リフレクションタイム ポートフォリオ記入	講義 リフレクション・アン ケート	ゼミ論文提出
テキスト	①難波江和秀・内田樹『現代思想のパフォーマンス』(光文社新書) ②河野哲也『レポート・論文の書き方入門』(慶應義塾大学出版会)		
参考書	内田樹『邪悪なものの鎮め方』(文春文庫) 丹木博一『いのちの生成とケアリング』(ナカニシヤ出版)		
その他 特記事項	問題意識をもって主体的に授業に参画することを求める。発表前には担当教員と事前に入念な打ち合わせを行うこと。		

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	森下 園
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4202	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	歴史学の作法、史料論、アカデミックスキルズ						
授業の概要	歴史学の作法と先行研究の読み方・資料の探し方、口頭発表の仕方などのアカデミックスキルズを学び、専門の文献の要約発表を行う。						
達成目標	テキスト 1 を輪読しながら、新聞・ネット情報・新書の一部などを選んで批判的に読み、口頭で要約することで、適切な資料・文献の探し方・読み方を身につける。またテキスト 2 の要約発表を通して、先行研究である論文の批判的な読み方、報告の仕方、聞き方を身につけることが目標である。						
到達目標	テキスト 1 を踏まえて新聞・ネット情報・新書の一部を読み、適切な情報の探し方・批判的な読み方を身につける (①)。またテキスト 2 の要約発表を通して、発表者はレジユメの作成、発表の仕方を実践的に身につけ (②)、聞き手は適切な質問や意見を通して議論を展開できるような聞き方を身につけることができる (③)。要約発表後に質問・意見を踏まえて内容を反省レポートにまとめることで改善点を自覚できる (④)。						
評価方法	①テキスト 1 を輪読し理解した上で、新聞・ニュースなどを口頭で要約 (20%) ②テキスト 2 の要約発表 (40%) ③要約発表への質問・意見 (20%) ④要約発表内容の反省レポート (20%)						
評価基準	①テキスト 1 を理解しているか、適切な情報の探し方をしているか、批判的な読みができてきているか、自分のことばでポイントを要約できているか ②テキスト 2 を理解したうえで適切にレジユメを作成し、時間配分を守って口頭発表できているか、聞き手が理解しやすい発表となっているか ③要約発表をきちんと聞いて質問・意見を積極的に出しているか ④質問・意見を踏まえて反省点をレポートにまとめてあるか						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	歴史学の作法と研究倫理について テキスト 2 の要約担当の決定	講義、グループワーク	復習：テキスト 2 の下読み
2	テキスト 1 の Work5-7 新聞・ネット情報・新書の一部の紹介	輪読、グループワーク、口頭発表	予習：テキスト 1 の pp.38-49 復習：情報収集
3	テキスト 1 の Work8-9 新聞・ネット情報・新書の一部の紹介	輪読、グループワーク、口頭発表	予習：テキスト 1 の pp.50-57 復習：情報収集
4	テキスト 1 の Work10-12 新聞・ネット情報・新書の一部の紹介	輪読、グループワーク、口頭発表	予習：テキスト 1 の pp.70-81 復習：情報収集
5	テキスト 1 の Work13-16 新聞・ネット情報・新書の一部の紹介	輪読、グループワーク、口頭発表	予習：テキスト 1 の pp.82-97 復習：要約発表準備
6	テキスト 2 の要約発表と質疑応答①	要約発表、質疑応答、講評	予習：テキスト 1 の講読 復習：要約発表準備
7	テキスト 2 の要約発表と質疑応答②	要約発表、質疑応答、講評	予習：テキスト 2 の講読 復習：要約発表準備
8	テキスト 2 の要約発表と質疑応答③	要約発表、質疑応答、講評	予習：テキスト 2 の講読 復習：要約発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	テキスト2の要約発表と質疑応答④	要約発表、質疑応答、講評	予習: テキスト2の講読 復習: 要約発表準備
10	テキスト2の要約発表と質疑応答⑤	要約発表、質疑応答、講評	予習: テキスト2の講読 復習: 要約発表準備
11	テキスト2の要約発表と質疑応答⑥	要約発表、質疑応答、講評	予習: テキスト2の講読 復習: 要約発表準備
12	テキスト2の要約発表と質疑応答⑦	要約発表、質疑応答、講評	予習: テキスト2の講読 復習: 要約発表準備
13	テキスト2の要約発表と質疑応答⑧	要約発表、質疑応答、講評	予習: テキスト2の講読 復習: 個別テーマ選択
14	テキスト1の Work17-18 ゼミIでの個別研究テーマ発表	輪読、グループワーク、テーマ発表	予習: テキスト1の pp.98-105 復習: 個別テーマ選択
15	ゼミIでの個別研究テーマ発表 学修ポートフォリオ記入と来期の計画	輪読、グループワーク、テーマ発表	予習: 学修ポートフォリオ記入
テキスト	1. 桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング(改訂版)』(実教出版) 2. 上智大学史学科編『歴史家の散歩道』(Sophia University Press)		
参考書	J・H・アーノルド『1冊でわかる歴史学』(岩波書店)		

科目名	SES200: ゼミナールI					担当教員	森下 園
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4202	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	歴史学、社会史、時事問題、史資料論、プレゼンテーション						
授業の概要	各自が選んだ研究テーマにそって文献を講読し、個人報告を行い、ディスカッションを行う。トピックは、歴史学などの専門領域のほか、ジェンダー問題・紛争解決・環境問題などの時事問題、経済・経営や業界研究などからも設定できるが、歴史的背景を織り込む、または社会史の観点を入れるなど歴史の視点を含めた研究を行うこととなる。						
達成目標	研究に必要な文献・資料を自ら選定して読み込み、まとめて発表できるようにする。また他の学生の発表を聞いて、適切な意見を出し、積極的に討論に参加できるようにする。						
到達目標	各自が関心のある研究テーマを設定し、必要な文献・資料を選び、先行研究の要約発表を行うことで、適切な資料選択や資料の使用方法を身につける(①)。また最後に読み込んだ文献をまとめて、研究予備報告ができるようになる(②)。グループで意見を出しあうことで、討論に参加できるようになる(③)。						
評価方法	①先行研究要約発表が20%×2回=40%、 ②レジュメを使った研究予備報告が30%、 ③文献紹介や研究予備報告への質疑応答参加が30%となる。						
評価基準	①先行研究要約発表：研究に必要な適切な先行研究・参考文献を選んでいるか、その内容を把握し要約できているか、そのポイントをきちんと整理してレジュメを作成し発表できているか ②研究予備報告：文献紹介の内容をまとめ、研究報告のどの部分にどのように入れるか、レジュメを使ってきちんと整理できているか ③質疑応答：発表内容をよく聞いて適切な質問または意見を述べているか						
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	研究テーマ設定、文献・資料の選定 研究倫理について	講義、グループワーク	復習：文献・資料選定
2	テキストのWork 1-3 発表・論文作成上の注意	輪読、グループワーク、質疑応答	予習：テキスト pp.10-21 復習：研究テーマ決定
3	テキストのWork 4および資料①と② 研究テーマの発表	輪読、研究テーマ発表、質疑応答	予習：テキスト pp.22-27, 34-35、復習：要約発表準備
4	先行研究の要約発表、質疑応答①	発表、質疑応答、講評	先行研究を読み、要約発表準備
5	先行研究の要約発表、質疑応答②	発表、質疑応答、講評	先行研究を読み、要約発表準備
6	先行研究の要約発表、質疑応答③	発表、質疑応答、講評	先行研究を読み、要約発表準備
7	先行研究の要約発表、質疑応答④	発表、質疑応答、講評	先行研究を読み、要約発表準備
8	先行研究の要約発表、質疑応答⑤	発表、質疑応答、講評	先行研究を読み、要約発表準備
9	先行研究の要約発表、質疑応答⑥	発表、質疑応答、講評	先行研究を読み、要約発表準備
10	先行研究の要約発表、質疑応答⑦	発表、質疑応答、講評	先行研究を読み、要約発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	先行研究の要約発表、質疑応答⑧	発表、質疑応答、講評	研究予備報告準備
12	研究予備報告、質疑応答①	発表、質疑応答、講評	研究予備報告準備
13	研究予備報告、質疑応答②	発表、質疑応答、講評	研究予備報告準備
14	研究予備報告、質疑応答③	発表、質疑応答、講評	研究予備報告準備
15	ゼミⅡの計画作成、質疑応答 学修ポートフォリオ記入	グループワーク	ゼミⅡの計画作成

テキスト	桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング(改訂版)』(実教出版)
参考書	上智大学史学科編『歴史家の工房』(上智大学出版)

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	森下 園
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4202	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	歴史学、社会史、時事問題、史資料論、プレゼンテーション、論文作成						
授業の概要	ゼミ I に引き続き、各自が選んだ研究テーマにそって個人報告を行い、内容をゼミ論文にまとめる。トピックは、歴史学などの専門領域のほか、ジェンダー問題・紛争解決・環境問題などの時事問題、経済・経営や業界研究などからも設定できるが、歴史的背景を織り込む、または社会史の観点を入れるなど歴史の視点を含めた研究を行うこととなる。						
達成目標	研究に必要な文献・資料を自ら選定して読み込み、パワーポイントスライドを用いた研究報告として発表できるようにする。また、文献・資料を適切に引用したゼミ論文を作成できるようにする。						
到達目標	春学期の文献紹介や研究報告を踏まえて、教員の指導を受けながらパワーポイントスライドを作成し、所定の方法で研究報告ができるようになる (①)。また、他の学生の発表に対する質疑応答を通して改善点を学ぶことができる (②)。報告内容を、文献・資料を引用し、引用註をつけたアカデミックな書式でのゼミ論文にまとめることができる (③)。						
評価方法	①パワーポイントスライドを用いた研究報告が 30%、 ②報告に対する批評・質問が 30%、 ③A4 で 10 枚以上のゼミ論文が 40%となる。						
評価基準	①テーマが適切に設定されているか、資料スライドが書式を守って作成されているか、発表内容がきちんと整理されているか、顔をあげて話しているか、参考文献リストがきちんとついているか ②積極的に質問や意見を述べているか ③締め切り・書式を守り、先行研究を複数踏まえて書かれているか、適切な引用註・参考文献リストがついているか						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	夏季休暇中の成果報告 研究倫理について	研究報告	予習：夏季休暇中の研究成果をまとめておく
2	パワーポイントスライドでの発表作成の注意	講義、質疑応答	予習：各自のテーマの目次を用意
3	先行研究のリスト開示 ゼミ論文作成の注意	講義、グループワーク、質疑応答	予習：各自のゼミ論の先行研究リストを用意
4	テキストの文章例①-③ 研究報告の準備	輪読、グループワーク、質疑応答	予習：テキスト pp.28-33 復習：研究報告の準備
5	テキストの Work 19-20 研究報告の準備	輪読、グループワーク、質疑応答	予習：テキスト pp.106-113 復習：研究報告の準備
6	テキストの Work 21 パワーポイントスライドのチェック	輪読、スライドのピアチェック	予習：テキスト pp.116-121 復習：研究報告の準備
7	研究報告①、質疑応答	研究報告、質疑応答 講評	予習：研究報告準備 復習：ゼミ論の準備
8	研究報告②、質疑応答	研究報告、質疑応答 講評	予習：研究報告準備 復習：ゼミ論の準備
9	研究報告③、質疑応答	研究報告、質疑応答 講評	予習：研究報告準備 復習：ゼミ論の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	研究報告④、質疑応答	研究報告、質疑応答 講評	予習：研究報告準備 復習：ゼミ論の準備
11	研究報告⑤、質疑応答	研究報告、質疑応答 講評	予習：研究報告準備 復習：ゼミ論の準備
12	研究報告⑥、質疑応答	研究報告、質疑応答 講評	予習：研究報告準備 復習：ゼミ論の準備
13	研究報告⑦、質疑応答	研究報告、質疑応答 講評	予習：研究報告準備 復習：ゼミ論の準備
14	ゼミ論の提出、ピアチェック、講評	グループワーク、質 疑応答、講評	予習：研究報告準備 復習：ゼミ論の準備
15	ゼミ論文の返却、講評 リフレクションタイム	グループワーク、講 評、振り返り	学修ポートフォリオ記入
テキスト	桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング(改訂版)』(実教出版)		
参考書	上智大学史学科編『歴史家の窓辺』(上智大学出版)		

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	宮崎 幸江
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4217	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティの言語と文化、言語教育政策、多文化共生						
授業の概要	日本における言語マイノリティの子どもへの教育と多文化共生について、基礎的な事柄を学ぶ。1 部 2 年生と合同でゼミを行ない、2 年生の卒業研究の研究内容や研究方法、発表の仕方等を学ぶ。全員、なんらかのサービスラーニング活動を行うことにより、地域社会の課題解決に向けたアクティブラーニングを行う。						
達成目標	本科目は、「多文化共生とバイリンガリズム」に関する知識を深め多文化共生社会の現状や課題について批判的に考える力を少しずつ養っていくことを目標とする。						
到達目標	学期の終わりには、バイリンガルの言語発達や母語保持について理解できるようになる。また、日本におけるバイリンガルの言語教育環境とキャンパスのある秦野市の環境を比較し課題を発見し、ゼミナール I でその課題を掘り下げる。						
評価方法	授業への積極参加 20%、口頭発表 30%、期末レポート 50%						
評価基準	<p>授業への積極参加：準備として文献を読んだ上でディスカッションに臨んでいるかどうか。また、積極的に質問をすることで、自分とは異なる他者の意見を理解しようとしているかどうか。具体的、建設的な意見を述べることで、問題解決に向けた討議の活性化に貢献したかどうかを評価する。</p> <p>口頭発表：文献講読において担当箇所を要約し、多文化共生の実現のために現実社会が抱える問題点を明確に指摘することができるかどうか。</p> <p>期末レポート：バイリンガルの言語発達や母語保持について理解し、バイリンガルの言語教育環境についても問題を分析する力を評価する。</p>						
準備学修の時間	本科目の一回（90 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏休みの研究報告 1	発表、ディスカッション	プレゼン準備
2	文献講読 1 ことばとアイデンティティ 1	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
3	文献講読 2 ことばとアイデンティティ 2	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
4	文献講読 3 「6 章 多文化共生社会の実現にむけて」	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
5	文献講読 4 「7 章 多様化する外国籍の子どもと多文化教育」	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
6	文献講読 5 「8 章 文化・ことばと国際理解教育」	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
7	文献講読 6 「9 章 国際理解教育」	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
8	文献講読 7 「10 章 多文化の子どものエンパワメント」	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
9	2 年生卒業研究中間発表	1～2 年合同 質疑応答	期末レポート準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	2年生卒業研究中間発表	1～2年合同 質疑応答	期末レポート準備
11	2年生卒業研究中間発表	1～2年合同 質疑応答	文献を読んで、質問に答える
12	期末プロジェクト発表	1年生のみ 質疑応答	発表準備
13	2年生卒業研究最終発表	1～2年合同 質疑応答	発表準備
14	期末レポートの書き方・研究倫理	講義	期末レポート作成
15	まとめ、リフレクションタイム（ポートフォリオ記入）	学修成果の振り返り	期末レポート作成

テキスト	宮崎幸江『日本に住む多文化の子どもと教育—ことばと文化のはざままで生きる』（ぎょうせい出版）
参考書	みなみななみ『まんがクラスメイトは外国人—多文化共生 20 の物語』（明石書店） みなみななみ『まんがクラスメイトは外国人 入門編』（明石書店）
履修条件、 前提科目	日本語教育概論を履修する。

科目名	SES200: ゼミナールI					担当教員	宮崎 幸江
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4217	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティの言語と文化、ニューカマー、オールドカマー、日本の言語教育政策						
授業の概要	日本における言語マイノリティの子どもの教育と多文化共生について、各自がテーマを決めて1年かけて自主的に学ぶ。ゼミナールIでは、研究テーマへの導入として、ゼミ全体で地域の言語マイノリティの子どもの教育についてグループごとに研究し、地域社会の課題解決に向けたアクティブラーニングを行う。						
達成目標	本科目は、日本における言語マイノリティの現状について正しい知識を身に付け、テーマにそって課題研究をすることを目標とする。						
到達目標	学期の終わりまでに、言語マイノリティの教育問題を理解できるようになる。また、文献をもとに、それらの問題を批判的に分析することができるようになる。						
評価方法	授業への積極的参加 20%、口頭発表 30%、期末レポート 50%						
評価基準	<p>授業参加：準備として文献を読んだ上でディスカッションに臨んでいるかどうか、具体的、建設的な意見を述べることで、問題解決に向けた討議の活性化に貢献したかどうかで評価する。</p> <p>口頭発表：言語マイノリティの教育問題のポイントを、自らの研究テーマの視点からとらえ表現できるかで評価する。</p> <p>期末レポート：文献をもとに、言語マイノリティの教育問題を批判的に分析できる。</p>						
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	ゼミナールIの進め方についての説明 グループ分けについて	講義、ディスカッション	研究テーマ絞り込み
2	文献講読1 第1章 文化間移動とこどもの言語発達	講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
3	文献講読2 第2章 日本に住む多文化家庭のバイリンガリズム	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
4	文献講読3 第3章 子どものアイデンティティ交渉	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
5	文献講読4 第4章 ブラジルの日系人と在日ブラジル人	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
6	文献講読5 第5章 ことばとアイデンティティ	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
7	文献講読6 対談1 多文化の子どものことばとアイデンティティ	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
8	文献講読7 対談2 多文化共生に必要な「文化力」	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	論文の構造	講義、ディスカッション	研究テーマ絞り込み
10	文献の読み方・まとめ方	講義、ディスカッション	研究テーマ絞り込み
11	調査の方法と結果のまとめ方	講義、ディスカッション	研究テーマ絞り込み
12	論文テーマ発表 研究の計画をたてる	講義、ディスカッション	文献講読、論点を考える、 アウトライン作成
13	アウトライン作成	講義他	文献講読、発表準備
14	レポートの書き方・研究倫理	講義	期末レポート作成
15	まとめ、リフレクションタイム(ポート フォリオ記入)	学修成果の振り返り	期末レポート作成

テキスト	宮崎幸江(編)『日本に住む多文化の子どもと教育—ことばと文化のはざままで生きる』(ぎょうせい出版)
参考書	川上郁雄『私も「移動するこども」だった』(くろしお出版) 三田千代子(編)『グローバル化の中で生きるとは:日系ブラジル人のトランスナショナルな暮らし』(上智大学出版)
履修条件、 前提科目	日本語教育演習を履修する。
その他 特記事項	本ゼミ履修生は、2007年に秦野市と締結した提携協定に基づき行われるサービスラーニング活動(地域の外国籍市民と児童を支援する日本語・教科支援ボランティア)に参加することを求める。

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	宮崎 幸江
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4217	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティの言語と文化、言語教育政策、多文化共生						
授業の概要	日本における言語マイノリティの子どもへの教育と多文化共生について、各自がテーマを決めて 1 年かけて自主的に学ぶ。ゼミナール II では、ゼミナール I で学んだことを発展させて課題研究を行う。先行研究の読み方、研究課題の絞り方、調査方法と結果のまとめ方等についてもクラスで学び、学年末にゼミ論文を書く。						
達成目標	本科目は 1 年次から参加してきたコミュニティフレンドまたはカレッジフレンドでの経験と、日本語教育概論・演習、プレゼミナール等で学んだ知識を総合させて、多文化共生社会の現状や課題について批判的に考える力を養うことを目標とする。						
到達目標	学期終了までに、プレゼンテーションやディスカッションをするスキルも上達させ、多文化共生社会に関するゼミ論文を書く。						
評価方法	授業への積極的参加 20%、口頭発表 30%、ゼミ論文 50%						
評価基準	<p>授業参加：準備として文献を読んだ上でディスカッションに臨んでいるかどうか、積極的に質問をすることで、自分とは異なる他者の意見を理解しようとしているかどうか、具体的、建設的な意見を述べることで、問題解決に向けた討議の活性化に貢献したかどうかで評価する。</p> <p>口頭発表：各自の研究テーマにそってポイントを述べ、問題解決に向けた考察ができていないかを評価する。</p> <p>期末レポート：文献をもとに、言語マイノリティの教育問題を批判的に分析し、論文にまとめる力を評価する。</p>						
準備学修の時間	本科目の一回（90 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏休みの研究報告 1	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
2	夏休みの研究報告 2	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
3	夏休みの研究報告 3	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
4	卒業研究の計画	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
5	文献講読 1 各自研究テーマに関する文献のレポート	講義、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
6	文献講読 2 過去 2 年間のゼミ論文を読む	講義、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
7	卒業研究グループディスカッション	講義、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
8	ゼミ論文の書き方 1	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、発表準備
9	卒業研究中間発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	卒業研究中間発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、発表準備
11	ゼミ論文の書き方2	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
12	ゼミ論文アウトライン発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
13	ゼミ論文指導	講義	文献講読、テーマ絞り込み
14	レポートの書き方・研究倫理	講義	ゼミ論文作成
15	まとめ、リフレクションタイム（ポートフォリオ記入）	学修成果の振り返り	ゼミ論文作成

テキスト	宮崎幸江（編）『日本に住む多文化の子どもと教育—ことばと文化のはざままで生きる』（ぎょうせい出版）		
参考書	拝野寿美子『ブラジル人学校の子どもたち』（ナカニシヤ出版） 牛田千鶴『南米につながる子どもたちの複数文化を「力」に変えていくために』（行路社）		
その他 特記事項	1年次から継続してきたサービスラーニング活動から、地域社会の課題解決に向けたアクティブラーニングを行ない卒業研究とする。		

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	飯田 純也
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4216	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	物語、研究、研究倫理、経済成長、資本主義、国家、企業、格差、世界大戦、冷戦						
授業の概要	物語がなければならぬときがある。戦争が繰り返され、殺されてはならない人々が殺される。人は皆、戦争に勝つことだけを考える。負けることも考えなければならぬ。古代ギリシャの詩人は勝者の側でありながら、敗者の立場に立ち戦争の悲劇を描いた。物語研究を始めるにあたり、物語が必要とされる現代の状況と文脈を概観する。この作業を通して、各自問題意識と歴史意識を明確化することになるだろう。資料は映像資料を中心に使う。授業は毎回グループワーク主体で行う。						
達成目標	セメスター前半では、事前に映像資料を見てもらい、問題発見・問題解決に向け、グループで情報を収集したり評価したり編集したりしながら、協調性、積極性、自己管理、問題発見能力、問題解決能力を身につける。後半では、物語の内容を理解する語学力と、物語の世界を分析的、批判的、論理的に説明する思考力の獲得を目指す。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. リサーチの方法を身につけることができる 2. 協調性、積極性、自己管理能力を身につけることができる 3. 問題発見能力、問題解決能力を身につけることができる 4. 問題意識と歴史意識を持って、人間のゲーム性を批判的に見ることができる 5. 人文科学、社会科学を学ぶ動機を得ることができる 6. 自らの洞察、分析、推理、仮説を根拠付けて説明することができる 						
評価方法	1. グループワークは毎回のシャトルカードの小テストと質問の回数と内容 (40%) 2. 中間レポート (20%) 3. ペアワークは毎回のシャトルカードの質問の回数と内容 (40%)						
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション 研究倫理	自己紹介、講義	自己紹介準備 (研究分野の特定)
2	大きく問うことではじめる (1) 問題意識: 経済「世界の成長は続くのか」	講義、グループワーク	課題映像資料の視聴等の準備、グループワーク準備
3	大きく問うことではじめる (2) 問題意識: 経済「国家 vs 超巨大企業」	講義、グループワーク	課題映像資料の視聴等の準備、グループワーク準備
4	大きく問うことではじめる (3) 問題意識: 経済「巨大格差」	講義、グループワーク	課題映像資料の視聴等の準備、グループワーク準備
5	教訓を語ろう (1) 学問の基盤: 歴史「第 1 次世界大戦」	講義、グループワーク	課題映像資料の視聴等の準備、グループワーク準備
6	教訓を語ろう (2) 学問の基盤: 歴史「大戦間時代」	講義、グループワーク	課題映像資料の視聴等の準備、グループワーク準備
7	教訓を語ろう (3) 学問の基盤: 歴史「第 2 次世界大戦」	講義、グループワーク	課題映像資料の視聴等の準備、グループワーク準備
8	教訓を語ろう (4) 学問の基盤: 歴史「冷戦」	講義、グループワーク	課題映像資料の視聴等の準備、グループワーク準備
9	教訓を語ろう (5) 学問の基盤: 歴史「1960 年代」	講義、グループワーク	課題映像資料の視聴等の準備、グループワーク準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	教訓を語ろう(6) 学問の基盤:歴史「21世紀」	講義、グループワーク	課題映像資料の視聴等の準備、グループワーク準備
11	個人研究オリエンテーション 物語は自然を映す鏡	講義、ペアワーク	個人研究テーマ決定へ文献リサーチ
12	個人研究 文献研究指導	ペアワーク	文献リサーチ
13	個人研究	ペアワーク	文献リサーチ、中間レポートの準備
14	個人研究	ペアワーク、中間レポート提出	文献リサーチ、中間レポートの準備
15	リフレクション	講評、ポートフォリオ記入	学修成果の振り返り

テキスト	テキストは使用しません。授業ごとに資料を用意して配布します。
参考書	この授業では教材として以下の映像作品を紹介します。NHK「マネー資本主義」(2012年)、NHK「新映像の世紀」(2015年)

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	神谷 雅仁
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4215	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	英語力の向上、TOEIC Vocabulary、アカデミック・スキルズの鍛錬、言語学に関する学び						
授業の概要	本講はアカデミック・スキルズのトレーニング、英語力の向上、そして言語学の分野に関する基礎的な知識の習得という 3 つの大きな柱から構成されている。テキストは言語学の知識を深め、同時に英語力を高める目的で英語で書かれた言語学の入門書が指定されている。さらに TOEIC 関連の英語の語彙も学期を通して学ぶ。また総合的な英語力を英字新聞などの記事を利用しながら養っていく。同時に学生たちは自分の担当するチャプターをレジュメにまとめ、口頭発表をすることで発表の仕方も学んでいく。						
達成目標	上記の「概要」で述べたアカデミック・スキルズの向上に関して、学生たちはチャプター・プレゼンテーションを通して、発表の仕方やレジュメの作り方、また発表後のディスカッションの仕方を学ぶ。英語力に関しては、学生たちは英語で書かれたテキストを通し、専門的な内容を英語で読むということへの慣れができる。また英字新聞や雑誌の記事を使い chunk-reading や chunk-writing、和訳や reaction を書くなどの言語活動をする中で英語力の底上げが可能となる。そして何よりも次年度のゼミ I、II で扱うことになる社会言語学をはじめとする言語学の領域を概観することで、この分野の基礎固めが可能となる。						
到達目標	学生たちはプレゼンテーションに向け、英語で書かれたテキストをどのようにまとめるべきかについて、担当者のサポートを得ながらしっかりと理解し、それをレジュメづくりに活かすことができるようになる。ディスカッションについても、聞き手として単なる意見交換をするのではなく、発表の内容をクリティカルにとらえ、自らの意見や見解を発表者にわかりやすく伝えられるようになる。英語学習に関しては、学生たちは課題として出される chunk-reading や chunk-writing を通し、英語の文構造や語の配列を徹底的に学ぶ。それにより英語のテキストに対する理解力とスピードが上がる。そして言語学の分野に関して、チャプタープレゼンテーションとチャプターサマリーを通してその分野の全体像を把握することができる。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の課題およびその他の提出物：20% ・ポキャブラリークイズ：20% ・チャプタープレゼンテーション（口頭発表）& その後のディスカッション：20% ・チャプターサマリー（当該チャプターの要約）：20% ・学期末ペーパー：20% 						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の課題：英語で書かれた新聞や雑誌等の記事を題材に、読む、書く、和訳、ポキャビルの総合的言語学習が毎週、十分な量と回数が実行できたかどうか問われる。 ・ポキャブラリークイズ：TOEIC Test 用の vocabulary 学習が日々課せられるが、その理解、定着がなされているかが問われる。 ・発表：自らが担当するチャプターの内容がわかりやすく、また大学レベルにふさわしいかたちでまとめられているか（概念や理論を含めた用語の定義が言語例とともに説明されているか、レジュメの基本的な書き方に沿っているか、著者による見解と自分の考えが明確に区別されているか、参考文献リストがあるかどうか等）が問われる。 ・サマリー：発表者以外は全員その週の発表チャプターを読み、そのサマリーを提出することが課せられるのだが、提出回数およびその内容の出来によって評価される。 ・期末ペーパー：自分がプレゼンテーションで扱ったテーマについて、さらに文献を読み、より深いあるいは広いスコープでレポートに仕上げられているかが問われる。 						
準備学修の時間	本科目の一回（90 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Course overview	Lecture, discussion	Read the first section of the textbook
2	On Pre-seminar: Introduction Talking about learning academic skills 研究倫理について	Lecture, discussion group work, doing exercises, voc. quiz	Review the handout, Start the assignments, vocabulary
3	What is Linguistics? 言語学とは	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 1): read and write a summery
4	How English Has Changed over the Centuries <History of English> 英語の歴史	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 2): read and write a summery
5	The Sounds of English <Phonetics and Phonology> 人間の出す音	Students' presentation, discussion, feedback, voc. quiz	Textbook (chapter 9): read and write a summery, vocabulary
6	How Words Are Made <Morphology> 語形成	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 3): read and write a summery
7	How Words Mean <Semantics 1> 語の意味	Students' presentation, discussion, feedback, voc. quiz	Textbook (chapter 4): read and write a summery, vocabulary
8	How English Phrases Are Formed <Syntax 1> 句構造・文構造	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 5): read and write a summery
9	How Sentences Mean <Semantics 2> 句・文の意味	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 7): read and write a summery
10	How to Communicate with Other People <Pragmatics> 発話の意味	Students' presentation, discussion, feedback, voc. quiz	Textbook (chapter 8): read and write a summery, vocabulary
11	Regional Varieties of English: <Sociolinguistics 1> 地域方言	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 10): read and write a summery
12	English in Society <Sociolinguistics 2> 社会方言	Students' presentation, discussion, feedback, voc. quiz	Textbook (chapter 11): read and write a summery, vocabulary
13	How English is Acquired <Psycholinguistics> 言語習得	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 12): read and write a summery
14	Review of the second half 後半のまとめ Course review	Teacher's lecture, discussion, feedback, voc. quiz	Review of the course Work on the term paper
15	Reflection Time 学修ポートフォリオの作成	Students' reflection and Write the portfolio	Continue working on the term paper

テキスト	影山太郎、ブレント・デ・シェン、日比谷潤子 <i>First Steps in English Linguistics</i> (くろしお出版)
参考書	長谷川瑞穂(編著)『はじめての英語学』(研究社) 飯野公一ほか(著)『新世代の言語学』(くろしお出版)
その他 特記事項	「言語学概論」の科目を履修済みか同時履修が望ましい。

科目名	SES200: ゼミナール I					担当教員	神谷 雅仁
開講期	春	開講時限	水 4 限	研究室	4215	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	社会言語学、言語バリエーション、社会方言、地域方言、言語使用、バイリンガリズム						
授業の概要	本講では専門書を英語で読む、自己研究テーマに沿って発表をする、様々な言語事象についてディスカッションをする、専門分野に関するレポートを作成するなどのアカデミック・スキルズ修練のための活動を、社会言語学という専門分野の内容を題材に行っていく。学期前半は社会言語学に関する指定テキストを輪読しながら、言語使用とそのバリエーションについて学び、後半は社会言語学の分野から各自がテーマを選択し、そのテーマに沿って文献を調べ、まとめ、そしてその発表を行っていく。						
達成目標	本講の掲げる目標のひとつは大学という場での学問や専門的な研究を始めるために必要とされる様々なアカデミック・スキルズのトレーニングであるため、学生たちは各自 2 回の発表を通して、自分が理解した内容や得た知識を相手に分かりやすく伝達することができるようになる。同時にテーマとして設定されている社会言語学の分野への理解を深めることができる。						
到達目標	本講における発表を通して、学生はレジュメの作成、発表時の注意点、先行文献の使い方、発表後のディスカッションや質疑応答の進め方、質問に対する答え方、意見の整理の仕方などを習慣づけられるようになる。また専門分野に関する学期末レポートを作成する中で、先行研究の重要性や自らの意見・主張の大切さ、文献を批判的に見る力、文献リストの書き方などを学び、実践できるようになる。また進路という観点からも、編入希望者の中で特に英語学や言語コミュニケーション系の学科に興味を持っている学生は、言語の分野における基礎研究や個別研究の一部を垣間見ることになり、それは自らの編入に対する志望動機の明確化と専門知識の集積につながっていく。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 発表 1 (Textbook <i>Sociolinguistics</i> by B. Spolsky) : 20% 発表 2 (自己研究テーマ) : 20% 授業参加・提出物 (Post-presentation discussion, chapter summary) : 15% 学期末レポート (Term paper) : 25% Article Note: 20% 						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 発表 1, 2 では、発表の進め方、レジュメの出来、先行研究の扱い、文献の示し方、そしてディスカッション時の受け答えの良さ悪しなどが評価される。 授業参加は聞き手として発表者にどのようなフィードバックを返すことができるかに着目し、特に批判的な視点をともなうフィードバックに高い評価が与えられる。 提出物 (chapter summary) は当該チャプターの要約の出来と exercise がやってあるかが問われる。 Article Note は各エントリーに必要な言語活動がすべて含まれており、かつ既定回数のエントリー数が達成できているかが評価に反映する。 						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course overview 研究倫理について The social study of language	Lecture, students' presentation, discussion	Read textbook (chapter 1) and write a chapter summary
2	The ethnography of speaking and the structure of conversation	Students' presentation, discussion, lecture	Read textbook (chapter 2) and write a chapter summary
3	Locating variation in speech	Students' presentation, discussion, lecture	Read textbook (chapter 3) and write a chapter summary
4	Styles, gender, and social class	Students' presentation, discussion, lecture	Read textbook (chapter 4) and write a chapter summary

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
5	Bilinguals and bilingualism	Students' presentation, discussion, lecture	Read textbook (chapter 5) and write a chapter summary
6	Societal multilingualism	Students' presentation, discussion, lecture	Read textbook (chapter 6) and write a chapter summary
7	The social study of language	Students' presentation, discussion, lecture	Read textbook (chapter 7) and write a chapter summary
8	自己研究テーマに関する発表 Group 1	Students' presentation, discussion, lecture	発表内容の復習 発表者は発表準備
9	自己研究テーマに関する発表 Group 2	Students' presentation, discussion, lecture	発表内容の復習 発表者は発表準備
10	自己研究テーマに関する発表 Group 3	Students' presentation, discussion, lecture	発表内容の復習 発表者は発表準備
11	自己研究テーマに関する発表 Group 4	Students' presentation, discussion, lecture	発表内容の復習 発表者は発表準備
12	自己研究テーマに関する発表 Group 5	Students' presentation, discussion, lecture	発表内容の復習 発表者は発表準備
13	自己研究テーマに関する発表 Group 6	Students' presentation, discussion, lecture	発表内容の復習 発表者は発表準備
14	自己研究テーマに関する発表 Group 7	Students' presentation, discussion, lecture	発表内容の復習 発表者は発表準備
15	Course review Reflection Time 学修ポートフォリオ作成	Lecture, discussion group work	Write the portfolio and work on the term paper
テキスト	Spolsky, B. <i>Sociolinguistics</i> (Oxford U.P.).		
参考書	東照二『社会言語学入門』(研究社) Romaine, Suzanne. <i>Language in Society: An Introduction to Sociolinguistics</i> (Oxford U.P.).		

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	神谷 雅仁
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4215	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	社会言語学、言語バリエーション、言語と年齢、Genderlect、地域方言、外来語使用						
授業の概要	ゼミナール I で基本的なアカデミック・スキルのトレーニングと社会言語学の分野に関するテーマの絞り込みを終えた学生たちは、ゼミ II で本格的に自己研究を開始する。最終目標であるゼミ論文の作成に向け、学生たちは学期中に計 3 回の発表（2 回の間中間報告と 1 回の最終発表）を行いながら、自らの研究を進めていく。毎回の授業は 3~4 名の学生の発表とディスカッションで構成され、最後にひとり一人に対し、担当教員よりフィードバックがなされる。ゼミ論文の最終提出は 1 月下旬。						
達成目標	本講では学びの集大成としてゼミ論文の作成を課しているが、学生たちは自らの自己研究に必要な様々な知識やスキルを専門書の読書や授業内での発表などを通じて修得する。同時に論文のテーマを言語学関連に限定しているため、言語に関する高い専門性を身に着けることができる。						
到達目標	本講を通して学生はゼミ論文作成という大きな目標を掲げ、それを達成するため計画的にそして確実に必要な作業を進めていくことを学ぶ。具体的には先行研究の収集、論文構成の決定（仮説やデータ収集法）、実際のデータ収集、そして実際の執筆作業など、論文完成までの長い工程の中でひとつずつステップを着実に踏み、最終的に自らの計画した目標を達成することができるようになる。同時にゼミ論文の作成や発表の機会を通し、自らのテーマ設定の仕方や先行研究の重要性について学ぶ一方で、既存の主張や考え方に対して批判的な視点で捉えることができるようになる。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ論文：60% ・発表（3 回）およびディスカッション：30% ・授業参加：10% 						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ論文：提出された論文が、全体の構成を含め一つの論文として成り立っているか。つまり授業内で学んだことが活かされたかたちで論文が完成しているかどうか。 ・発表：自らの研究内容を口頭、そしてレジュメを用いてわかりやすく説明しているか、また研究内容に関して質問された際、過不足なく答えているか、など。 ・授業参加：聴衆としてプレゼンターの発表内容に対してコメントや質問を含めたフィードバックを返しているかどうか、またそのフィードバックの内容が発表者に対して建設的であり、示唆を与えるものであり、また批判的であるかどうか問われる。 						
準備学修の時間	本科目の一回（90 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習（予習・復習）
1	Course overview ゼミ論文について、研究倫理について	講義、ディスカッション、SAMPLE 提示	ゼミ論文についてのテーマ決め、ハンドアウト確認
2	ゼミ論文について テーマ決定	講義、ディスカッション、SAMPLE 提示	ハンドアウトの復習
3	第 1 回プレゼンテーション Group 1	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
4	第 1 回プレゼンテーション Group 2	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
5	第 1 回プレゼンテーション Group 3	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
6	第 1 回プレゼンテーション Group 4	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
7	第 1 回プレゼンテーション Group 5	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習(予習・復習)
8	第1回プレゼンテーション Group 6	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
9	第2回プレゼンテーション Group 1	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
10	第2回プレゼンテーション Group 2	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
11	第2回プレゼンテーション Group 3	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
12	第2回プレゼンテーション Group 4	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
13	第2回プレゼンテーション Group 5	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
14	第2回プレゼンテーション Group 6	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
15	Course review Reflection Time 学修ポートフォリオの作成	講義、ディスカッション、group work	自己研究を進める

テキスト	テキストは使用しない。その代り、各回の発表者が配布する発表用レジュメを使用する。
参考書	東照二『社会言語学入門』(研究社) 浜田麻里、平尾得子、由比紀久子『大学生と留学生のための論文ワークブック』(くろしお出版)
その他特記事項	「言語学概論」や「社会言語学」といった言語学関連の科目を単位取得していることが望ましい。

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	T. Gould
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4209	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	American Literature, American Culture						
授業の概要	This seminar focuses on American Literature and American Culture. In our first semester, students will learn how to do close readings of famous American short stories. These stories will serve as an entry into an exploration of American Culture. Students will also learn the basic literary ideas and terms necessary to discuss the stories, make presentations, and write reports about them. Students will learn to identify and compare different aspects of culture, including values, behaviors and beliefs. Also, in pre-zemi, students will learn how to talk about and understand in detail American culture in terms of communication, the education system, the workplace, and family life.						
達成目標	Students in this course will: * gain an in-depth understanding of American Literature and Culture * improve their reading skills * further develop their writing skills * practice and enhance their ability to participate in focused discussions on literary topics * develop presentation skills						
到達目標	By the end of this course students should be able to adequately explain and discuss the features of American culture that we have studied during the course. Additionally, they should be able to participate in a literary discussion based on the short stories we have studied. In a discussion of the type, they should be able to use literary terms and analysis, and be able to relate summary and detail points of particular stories.						
評価方法	Class Participation 15%, Mid-Term Report 15%, Final Report 30%, Presentation 1 15%, Presentation 2 25%						
評価基準	Class participation: display a willingness to participate and an understanding of the cultural and literary topics we study in class, engage in discussions, listen respectfully and attentively to other students and to the teacher; Reports: complete reports by the deadline, at an appropriate length, using structural features of writing that we discuss in class; presentations: make slides with appropriate amount and quality of information, speak in a clear, loud voice, do not rely overly much on notes and show a deep understanding of the topic.						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Who studies culture? Different views of learning culture, generalizations and stereotypes	Short lecture, pair work discussion	PRINT: Who studies culture? GAS: 'Before You Read' p. 2
2	<i>The Gift of the Magi</i> by O. Henry, different views of learning culture, big-C and little-c	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 8-11
3	Values application, the formation of values in a society	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 14 PRINT: Diff views of cult.
4	<i>Love of Life</i> by Jack London Choosing an independent study novel	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 22-26
5	Consumerism in the United States, thrifty shopping, credit cards, values application	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 27 PRINT: Big-C, Little-c
6	<i>The Story of an Hour</i> by Kate Chopin Prepare for 'Book Club' sessions; the American workplace, different types of occupations in the U.S.,	Short discussion and Presentation 1	GAS: Exercises on pages 34-38 PRINT: Generalizations and stereotypes
7	Speaking out: how Americans communicate, American conversation, nonverbal communication, earnings and benefits	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 40 PRINT: How to talk about culture
8	<i>The Journey to Hanford</i> by William Saroyan, The American education system, higher education	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 49-54

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	<i>The Tell-Tale Heart</i> by Edgar Allan Poe 'Book Club' session (discuss novel)	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 56 PRINT: express opinions
10	<i>Tom Whitewashes the Fence</i> by Mark Twain; philosophy of American education	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 63-68 PRINT: Values application
11	<i>A White Heron</i> by Sarah Orne Jewett; organization and enrollment in Am. schools	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 70 PRINT: form. of val. in soc.
12	<i>Of the Coming of John</i> by W.E.B. Du Bois; family life in the United States, family structures	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 84 GAS: Exercises on pages 77-82 PRINT: How Am. comm.
13	<i>The Lady, or the Tiger?</i> By Frank R. Stockton, changing family structures, the older generation	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 98 GAS: Exercises on pages 91-96 PRINT: speaking out
14	Individual Presentations	Give presentation 2; group discussion	GAS: Exercises on pages 109- 114, prepare disc questions
15	Individual Presentations & Reflection Time	Give presentation 2; group discussion	Prepare discussion questions, review outline for present's
テキスト	Draper, C.G. <i>Great American Stories 1</i> (Longman).		

科目名	SES200: ゼミナール I					担当教員	T. Gould
開講期	春	開講時限	水 4 限	研究室	4209	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	American Literature, American Culture						
授業の概要	This seminar continues to expand our horizons in the study of American Literature and American Culture. In Seminar 1, students will continue to develop close reading skills by exploring famous American short stories. These stories will provide some of the material we use to generate discussions and research about American Culture. Students will continue to expand their vocabulary of literary ideas and terms necessary to discuss the stories, make presentations, and write reports. Students will learn to identify and compare different aspects of culture, including values, behaviors and beliefs. Also, in Seminar 1, students will continue to practice how to talk about and understand in detail American culture in terms of communication, the education system, the workplace, and family life.						
達成目標	Students in this course will: * gain an in-depth understanding of American Literature and Culture * improve their reading skills * further develop their writing skills * practice and enhance their ability to participate in focused discussions on literary topics * develop presentation skills						
到達目標	By the end of this course students should be able to adequately explain and discuss the features of American culture that we have studied during the course. Additionally, they should be able to participate in a literary discussion based on the short stories we have studied. In a discussion of the type, they should be able to use literary terms and analysis, and be able to relate summary and detail points of particular stories.						
評価方法	Class Participation 15%, Mid-Term Report 15%, Final Report 30%, Presentation 1 15%, Presentation 2 25%						
評価基準	Class participation: display a willingness to participate and an understanding of the cultural and literary topics we study in class, engage in discussions, listen respectfully and attentively to other students and to the teacher; Reports: complete reports by the deadline, at an appropriate length, using structural features of writing that we discuss in class; presentations: make slides with appropriate amount and quality of information, speak in a clear, loud voice, do not rely overly much on notes and show a deep understanding of the topic.						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	American literature / culture review lecture; course overview; course guidelines and expectations; reading aloud	Short lecture, pair work discussion	PRINT: Using forms of address GAS: 'Before You Read' p. 2
2	<i>The Romance of a Busy Broker</i> By O Henry; vocabulary guessing strategies, word morphology	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 7-12 PRINT: Proxemics, Am. Conversation
3	<i>The Ingrate</i> By Paul Laurence Dunbar; leisure time activities, activating background knowl.	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 14 PRINT: Am. small talk
4	Using <i>go</i> and <i>play</i> with various sports, suffixes and context, parts of speech	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 23-28 PRINT: Nonverbal comm.
5	<i>How I Went to the Mines</i> by Bret Hart; understanding figurative vs literal meaning, interrupting politely	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 30 PRINT: Body lang & hidden feelings
6	Presentations	Short discussion and Presentation 1	GAS: Exercises on pages 40-47

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	<i>Paul's Case</i> Willa Cather; survey – finishing sentences, recognizing signal words of cause & effect	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 50 PRINT: Silent message GAS: Exercises on pages 60-66
8	<i>A Jury of her Peers</i> by Susan Glaspell; history of extreme sports, Americans and fitness vs inactivity and obesity	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 68 PRINT: Leisure time GAS: Exercises on pages 78-84
9	<i>The Whale Hunt</i> By Herman Melville; finding information on the internet	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 86 PRINT: Interrupting politely
10	American education system II, using an English-English dictionary, recognizing pronoun reference words	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 95-101 PRINT: American educational system
11	<i>Paste</i> By Henry James; using abbreviations and symbols in note-taking, paraphrasing sent.	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 104 PRINT: phil. of Am ed.
12	Enrollment in American schools, American higher education, finding information in complex schedules	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 116-122 PRINT: Organization of American schools
13	<i>The Lost Phoebe</i> By Theodore Dreiser; problems in American Education, techniques for paraphrasing	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 124 GAS: Exercises on pages 91-96 PRINT: Earning a living
14	Presentations	Give presentation 2; Group discussion	Prepare discussion questions, review outline for present's
15	Presentations & Reflection Time	Give presentation 2; Group discussion	Prepare discussion questions, review outline for present's
テキスト	C.G. Draper. <i>Great American Stories 2</i> (Longman).		

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	T. Gould
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4209	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	American Literature, American Culture						
授業の概要	This seminar continues to expand our horizons in the study of American Literature and American Culture. In Seminar 2, students will continue to develop close reading skills by exploring famous American short stories. These stories will provide some of the material we use to generate discussions and research about American Culture. Students will continue to expand their vocabulary of literary ideas and terms necessary to discuss the stories, make presentations, and write reports. Students will learn to identify and compare different aspects of culture, including values, behaviors and beliefs. Also, in Seminar 2, students will continue to practice how to talk about and understand in detail American culture in terms of communication, the education system, the workplace, and family life.						
達成目標	Students in this course will: * gain an in-depth understanding of American Literature and Culture * improve their reading skills * further develop their writing skills * practice and enhance their ability to participate in focused discussions on literary topics * develop presentation skills						
到達目標	By the end of this course students should be able to adequately explain and discuss the features of American culture that we have studied during the course. Additionally, they should be able to participate in a literary discussion based on the short stories we have studied. In a discussion of the type, they should be able to use literary terms and analysis, and be able to relate summary and detail points of particular stories.						
評価方法	Class Participation 15%, Mid-Term Report 15%, Final Report 30%, Presentation 1 15%, Presentation 2 25%						
評価基準	Class participation: display a willingness to participate and an understanding of the cultural and literary topics we study in class, engage in discussions, listen respectfully and attentively to other students and to the teacher; Reports: complete reports by the deadline, at an appropriate length, using structural features of writing that we discuss in class; presentations: make slides with appropriate amount and quality of information, speak in a clear, loud voice, do not rely overly much on notes and show a deep understanding of the topic.						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	American literature / culture review lecture; course overview; course guidelines and expectations; reading aloud	Short lecture, pair work discussion	PRINT: Family life in US GAS: 'Before You Read' p. 2
2	<i>Breakfast</i> by John Steinbeck; values application, exchange student experience	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 7-14 PRINT: Traditional fam. struct
3	<i>A Day's Wait</i> by Ernest Hemingway; earning a living, the American workplace	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 16 PRINT: Changing Am family
4	<i>April Showers</i> by Edith Wharton; occupations, statistics, vocabulary development	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 22-28
5	<i>Rip Van Winkle</i> by Washington Irving; recognizing and using different word forms	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 48 PRINT: Debate cont. issues
6	Presentations	Short discussion and Presentation 1	GAS: Exercises on pages 62-68
7	<i>The Wives of the Dead</i> by Nathaniel Hawthorne; scanning a reading and news article for specific info	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 70 PRINT: Statue of Liberty

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
8	<i>Nine Needles</i> by James Thurber; filling in an outline of a reading, occupations: past and present	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 79-88 PRINT: Old Glory (flag)
9	<i>A Mystery of Heroism</i> by Stephen Crane; , industrialization in the U.S, avoiding sexist language	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 106 PRINT: Mt. Rushmore & Bald Eagle
10	Predicting syllable stress, white collar, blue collar, outlining	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 118-124 PRINT: Santa Claus / EB
11	<i>A Visit of Charity</i> by Eudora Welty; participating in an American group discussion	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 126 PRINT: Hallow. / Valent.
12	Interpreting information on a graph, making teamwork work, family life in the US, writing descriptive paragraph	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 136-142 PRINT: Good Luck / Bad Luck
13	<i>The Black Ball</i> By Ralph Ellison; recognizing synonyms, evaluating credibility, skimming for main ideas	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p. 144 GAS: Exercises on pages 157-163 PRINT: Wedding superst.
14	Individual Presentations	Give presentation 2; Group discussion	Prepare discussion questions, peer review pres.
15	Individual Presentations & Reflection Time	Give presentation 2; Group discussion	Prepare discussion questions, peer review pres.

テキスト	C.G. Draper. <i>Great American Stories 3</i> (Longman).
------	---

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4205	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	multiculturalism, immigration, ethnicity, identity, vocabulary, presentation skills						
授業の概要	In this course, students will read about and discuss various topics related to multiculturalism—such as immigration, ethnicity, discrimination, and cultural identity. While doing so, students will build up their English vocabulary, improve their ability to discuss complex cultural and social issues in English, and develop their basic research skills. Each student will do three presentations in English during the semester.						
達成目標	Students will learn about “multiculturalism” in various countries, improve their ability to understand and discuss social and cultural issues in English, and develop basic research and presentation skills.						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> • appropriately use key English vocabulary from readings related to social and cultural issues; • summarize important information from readings about social and cultural issues; • express one’s own views on multiculturalism-related issues in the world today; • appropriately use information from books or other research sources; • organize information from research into an outline for a presentation; • deliver a short, well-organized presentation with good delivery. 						
評価方法	Participation (35%), Homework (35%), Presentations (30%).						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> • Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, appropriate use of vocabulary from readings, summarizing of information, expression of own views; • Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, appropriate use of vocabulary from readings, summarizing of information, expression of own views, appropriate use of information from research sources; • Presentations: appropriate use of vocabulary, summarizing of information, expression of own views, organization (including “preview” in Introduction) of spoken presentation and printed outline, appropriate use of research sources, good delivery (including voice, eye contact, etc.). 						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation to the course. Perspectives on multiculturalism.	explanation by teacher, small-group work	Read the course syllabus. Review handouts.
2	Mini-Research Project about one country. Presentation basics #1 (basic organization, delivery, visuals).	lecture, small-group discussion	Do light research, prepare homework.
3	Presentation #1 (half of students).	presentations, small-group discussion	Prepare presentation.
4	Presentation #2 (half of students).	presentations, small-group discussion	Prepare preparation.
5	Explanation of Presentation #2. Presentation basics #2 (“preview” of presentation content, etc.). Research basics / ethics (using sources, avoiding plagiarism.)	lecture, small-group work, in-class writing	Review handouts distributed in class today; start preparing for Presentation #2.
6	Case study: reading and discussion.	small-group discussion, lecture	Read case study material. Prepare Fact Sheet (Canada / Australia).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	Readings and discussion. Presentation #2: Settler-states (Canada, Australia, Brazil, Mexico).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Sweden / France.)
8	Readings and discussion. Presentation #2: Europe zone (England, France, Sweden, Turkey).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Malaysia / Indonesia.)
9	Readings and discussion. Presentation #2: Asian cases (Malaysia, Indonesia, India, Philippines).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Switzerland / South Africa.)
10	Readings and discussion. Presentation #2: Other complicated cases (Switzerland, South Africa, Israel, Egypt). Explanation of Presentation #3.	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary.
11	Preparation for Presentation #3.	individual guidance from teacher, in-class writing	Decide topic for presentation. Do research for presentation. Prepare outline.
12	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout.
13	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout.
14	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout.
15	Reflection Time (portfolio). Remaining presentations, if any. Recap of semester. Overview of Seminar I and Seminar II.	small-group work, in-class writing, lecture	Review materials studied to date.

テキスト	Handouts (mainly news articles) will be provided by the teacher. To prepare for presentations, students will find books or other materials to read.
参考書	A. Rattansi. <i>Multiculturalism: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press). <i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i> (Sophia University Junior College Division).
その他特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class.

科目名	SES200: ゼミナール I					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	水 4 限	研究室	4205	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	multiculturalism, research skills, presentation						
授業の概要	Building upon what students learned in the Pre-seminar, in this course students will investigate various key issues related to multiculturalism. These may include, for instance, illegal immigration, ethnic identity, religious intolerance, racism, language laws, and multicultural education. Through independent study and presentations during the semester, students will develop their research and academic presentation skills.						
達成目標	Students will learn to summarize, organize, present, and ask questions about information that they have found in books and other sources. They will also improve their ability to discuss their own study / career interests.						
到達目標	By the end of the semester, students will be able to summarize both general and specific information about an issue and about that issue in a specific country; ask good questions to guide their own future study of an issue; prepare a well-organized outline for a presentation; do a well-organized 7-10 minute presentation with good delivery; discuss their own study / career interests in relation to specific universities / companies that they would like to enter.						
評価方法	Participation (45%), Written work, including presentation handouts (20%), Presentations (35%).						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> • Participation: active involvement in everyday discussions and other class activities; effort to regularly use English; shows improvement in ability to discuss study / career interests; • Written work: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes both general and focused information, well organized, includes appropriate study questions; • Presentations: appropriate topic, appropriate length, summarize both general and specific information, well organized (following outline and including a preview), include appropriate study questions, demonstrate good delivery (eye contact, voice, etc.). 						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation: perspectives on multiculturalism. Explanation of Presentation #1 and #2.	explanation by teacher, small-group discussion	Read syllabus carefully. Review presentation explanation.
2	Talking / writing about one's study / career interests (with follow-up on class 7).	lecture, small-group discussion	Review class notes, begin preparing for presentation.
3	Presentation preparation. Review: research basics / ethics.	lecture, small-group discussion	Review class notes. Write presentation Topic Sheet.
4	Presentation #1. Topics: (1) Immigration and (2) Identity.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
5	Presentation #1. Topics: (3) Religion and (4) Attitudes / Ideologies.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
6	Presentation #1. Topics: (5) Policies / Laws and (6) Social Institutions.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
7	Asking good questions for research. Discussing one's study / career interests (follow-up from class 2). Explanation of Presentation #3.	lecture, small-group discussion, individual guidance from teacher	Review class notes, prepare written statement of study / career interests.
8	Presentation #2. Topics: (1) Immigration, (2) Identity, and (3) Religion.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	Presentation #2. Topics: (4) Attitudes / Ideologies, (5) Policies / Laws, and (6) Social Institutions.	presentations, small- group discussion	Prepare presentation, including handout.
10	Research basics / ethics: using information from sources (avoiding plagiarism). Discussion of research progress for Presentation #3.	lecture, small-group work	Review class notes. Write Reading Report (on material related to Presentation #3).
11	Presentation preparation. Discussion of research progress for Presentation #3.	small-group discussion, individual guidance	Write presentation Topic Sheet. Write Reading Report (on material related to Presentation #3).
12	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small- group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
13	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small- group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
14	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small- group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
15	Reflection Time (portfolio). Recap of Spring semester, planning for Fall semester (including Seminar II Research Project Topic sheet).	explanation by teacher, small-group discussion	Review class notes, handouts.

テキスト	None. To prepare for presentations, students will select their own materials to read.
参考書	A. Rattansi. <i>Multiculturalism: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press).
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class.

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4205	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	multiculturalism, independent research project, presentation, report						
授業の概要	In this course, each student will do an independent research project on a topic related to multiculturalism. For this, students will choose their own topic, think of their own research question, and find related books and other materials to read. In addition to two short presentations, each student will also do a longer final presentation and write a report about her research findings.						
達成目標	Students will develop their ability to do an independent research project and to discuss their study interests.						
到達目標	By the end of this course, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> • formulate a suitable question for an independent research project; • conduct reading-based research focused on that research question; • summarize key information related to the research topic; • describe and analyze “data” related to the research topic; • organize information in a manner suited to a research report; • explain one’s study interests in relation to ideas and information learned from books or other materials. 						
評価方法	Participation (25%), Homework (25%), Presentations (25%), Report (25%).						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> • Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, effort to explain one’s study interests in relation to ideas and information learned from books or other materials; • Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes key information related to the research topic; • Presentations and Report: suitability of research question; evidence of research focused on the research question; summarizing of information related to the research topic; description and analysis of “data” related to the research topic; organization of information. 						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Overview of Fall semester. Discuss Research Project Topic prepared by each student. Explanation of presentation #1.	explanation by teacher, small-group discussion	Prepare “Research Project Topic” document in advance.
2	Talking / writing about one’s study interests (writing a statement of purpose, or SOP).	explanation by teacher, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare SOP worksheet.
3	Short presentation #1: your independent research topic.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
4	Short presentation #1: your independent research topic. Explanation of Presentation #2.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
5	Short presentation #1: your independent research topic.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
6	Short presentation #2: describing and analyzing “data.”	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
7	Short presentation #2: describing and analyzing “data.”	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
8	Short presentation #2: describing and analyzing “data.”	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
9	Organizing your final Seminar report. Review research basics / ethics: avoiding plagiarism.	lecture, small-group work	Review handouts provided in class.
10	Writing an Introduction (including “thesis statement”) and Conclusion. Explanation of final presentation.	lecture, small-group work	Review handouts provided in class.
11	Prepare for final presentation, final Seminar report	individual guidance from teacher	Write draft of presentation outline.
12	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
13	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
14	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
15	Reflection Time (portfolio), recap of semester.	small-group discussion, in-class writing	Finish writing final Seminar report.

テキスト	None. For their own independent research projects, students will choose their own books and other materials to read.
参考書	A. Rattansi. <i>Multiculturalism: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press).
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class.

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	杉村 美佳
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4220	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	国際教育学研究、国際教育協力、開発教育、参加型学習の歴史と現状、総合学習						
授業の概要	途上国への国際教育協力の状況を検討した上で、先進国における参加型学習の歴史や現状を理解し、途上国の問題解決に参加できる能力と態度を養う教育のあり方を考察する。前半は、テキストに基づいてグループ研究発表を行い、国際教育学研究の基礎理論を学ぶ。後半では、英文原書の講読を進め、途上国の女子教育について理解を深めるとともに、2年生のゼミ論文の発表に参加し、論文の書き方を学ぶ。						
達成目標	国際教育協力や開発教育のあり方、参加型学習の歴史や現状を理解する。さらに国際的視点から日本の教育政策や教育実践などの方向性を探ることを通して、国際教育学研究の基礎的な理論と方法論を習得する。						
到達目標	①国際教育協力や開発教育のあり方、参加型学習の歴史や現状に関する知識を習得し、国際的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、考察することができる。 ②テキストの内容を整理してレジュメを作成し、相手に効果的に伝わる発表や議論をすることができる。 ③英文講読を通して教育学の専門用語を学び、途上国の女子教育の現状と課題について理解し、教育学の英文原書を読む力を身につける。						
評価方法	討論への参画 (20%)、研究発表 (30%)、英文講読 (20%)、リアクションペーパー (20%)、ブックレポート (10%)						
評価基準	討論への参画：研究発表や論点に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 研究発表：テキストの内容を的確に整理してレジュメを作成し、効果的な発表を行っているか。討論の論点を提示しているか。 英文講読：英文原書の内容を的確に把握し、途上国の女子教育の現状と課題を理解できているか。 リアクションペーパー：論点について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ブックレポート：内容を的確に要約し、国際教育学の視点から意見を論述できているか。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	国際教育学の理論と研究倫理	講義、ディスカッション	テキスト序章の講読 発表・ディスカッションの準備
2	援助と開発の歴史	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 1 章の要約 発表・ディスカッションの準備
3	開発プロジェクトのタイプ	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 3 章の要約 発表・ディスカッションの準備
4	参加型開発とは	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 4 章の要約 発表・ディスカッションの準備
5	日本の NGO と参加型開発	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 5 章の要約 発表・ディスカッションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
6	日本の開発教育	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第6章の要約 発表・ディスカッションの準備
7	開発教育ワークショップ	ワークショップ・解説・リアクションペーパー	配布資料の講読 発表・ディスカッションの準備
8	総合学習とESD	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第7章の要約 発表・ディスカッションの準備
9	参加型学習の歴史的系譜	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第8章の要約 発表・ディスカッションの準備
10	これからの国際協力と開発教育	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト終章の要約 発表の準備
11	<i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.1-3 の翻訳 発表の準備
12	<i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.4-6 の翻訳 発表の準備
13	<i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.7-10 の翻訳 発表の準備
14	<i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.11-13 の翻訳 発表の準備
15	2年生ゼミ論文発表会、リフレクションタイム	学修成果の振り返り ポートフォリオ記入	ポートフォリオ記入 ブックレポートの作成

テキスト	田中治彦『国際協力と開発教育—「援助」の近未来を探る』(明石書店) King, Elizabeth M. <i>Women's Education in Developing Countries</i> (World Bank).
参考書	小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書) 菅野琴・西村幹子・長岡智寿子編著『ジェンダーと国際教育開発—課題と挑戦—』(福村出版)
その他 特記事項	発表の1週間前までに教員にレジュメを提出し、指導を受けること。 ゼミ生には討議への活発な参加を求める。

科目名	SES200: ゼミナール I					担当教員	杉村 美佳
開講期	春	開講時限	水 4 限	研究室	4220	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	国際教育学研究、国際教育協力、開発教育、参加型学習の歴史と現状、総合学習						
授業の概要	開発教育の理念と歴史、地球的課題と開発教育、今後の開発教育の展開について専門的に学ぶ。具体的には、国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどをテーマとした開発教育の方法やカリキュラムのあり方を考察する。また、実際に開発教育ワークショップに参加し、開発教育の実践に必要な知識や技術を習得する。最後に各自自由にゼミ論文のテーマを設定し、構想発表を行う。						
達成目標	国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどの地球的諸課題について理解を深めた上で、これらをテーマとした開発教育の実践に必要な技術を習得する。またゼミ論文のテーマを設定して文献を収集し、論点を整理して論文の構想を練り上げる力を習得する。						
到達目標	①国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどの地球的諸課題について、教育を通して問題を解決するための方法を考察することができる。 ②開発教育のワークショップへの参加を通して実践に必要な知識や技術を習得する。 ③ゼミ論文のテーマを設定して先行研究を整理し、研究課題や研究方法などの構想を適切にまとめることができる。						
評価方法	討論への参画 (10%)、テキスト発表 (30%)、ゼミ論文の構想発表 (30%)、リアクションペーパー・レポート (30%)						
評価基準	討論への参画：研究発表や論点に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 研究発表：テキストの内容を的確に整理して考察を加えたレジюмеを作成し、効果的な発表を行っているか。 ゼミ論文の構想発表：ゼミ論文のテーマを適切に設定して先行研究を整理し、研究課題や方法などの構想を論理的にまとめているか。 リアクションペーパー：論題について発表内容をふまえて論理的に考察できているか。 レポート：文献を適切に要約して論点を整理し、自分の意見を論理的に述べているか。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	開発教育の内容・方法・カリキュラムと研究倫理	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	テキスト第 2 章の要約 発表・ディスカッションの準備
2	ヨーロッパとアジアにおける開発教育	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 3 章の要約 発表・ディスカッションの準備
3	ミレニアム開発目標	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 4 章の要約 発表・ディスカッションの準備
4	日本と世界の貧困問題	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 5 章の要約 発表・ディスカッションの準備
5	環境問題と開発教育	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 6 章の要約 発表・ディスカッションの準備
6	多文化共生社会の実現に向けて	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 8 章の要約 発表・ディスカッションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	子供の権利条約	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第9章の要約 発表・ディスカッションの準備
8	開発教育ワークショップ	ワークショップ リアクションペーパー	配布資料の講読 発表・ディスカッションの準備
9	ジェンダーと開発	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第10章の要約 発表・ディスカッションの準備
10	地域からの開発教育	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第12章の要約 発表の準備
11	ゼミ論文構想発表(1)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	テキスト pp.285-287 の翻訳 発表の準備
12	ゼミ論文構想発表(2)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	テキスト pp.291-293 の翻訳 発表の準備
13	ゼミ論文構想発表(3)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	テキスト pp.294-296 の翻訳 発表の準備
14	ゼミ論文構想発表(4)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	テキスト pp.297-299 の翻訳 発表の準備
15	ゼミ論文構想発表(5)、リフレクションタイム	発表・ディスカッション 学修成果の振り返り	ポートフォリオ記入 ブックレポートの提出

テキスト	田中治彦『開発教育—持続可能な世界のために—』(学文社) King, Elizabeth M. <i>Women's Education in Developing Countries</i> (World Bank).
参考書	田中治彦・杉村美紀編『多文化共生社会におけるESD・市民教育』(上智大学出版) 小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書)
その他 特記事項	発表の1週間前までに教員にレジュメを提出し、指導を受けること。 ゼミ生には討議への活発な参加を求める。

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	杉村 美佳
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4220	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	先行研究の検討、研究課題・研究方法の設定、文献研究・調査、ゼミ論文の作成、発表						
授業の概要	プレ・ゼミナールおよびゼミナール I で学んだ国際教育学研究の基礎的な理論と手法を用いて実際にゼミナール論文を作成する。毎回発表者が研究成果を報告し、ゼミ生全員で課題を討議する。また、1 年次生を対象に開発教育のワークショップを実践する。						
達成目標	国際教育学研究の基礎的な理論と研究手法を用いて教育事象を論理的、批判的に考察し、ゼミナール論文を作成、完成させることを目標とする。また、研究成果の報告ではお互いの課題を見出して討議し、効果的に発表する力を培う。さらに開発教育の実践を通して基礎的な指導技術を習得する。						
到達目標	①先行研究の検討、研究課題の設定、文献研究や各種調査などを通して論文作成に必要な知識、技法を習得し、研究論文の形に仕上げるができる。 ②研究内容を論理的に論述し、独自の考察を加え、説得力のある発表ができる。 ③毎回発表者が研究成果を報告し、ゼミ生全員で課題を討議することを通して、教育事象を論理的、批判的に分析し、考察できるようになる。 ④開発教育の実践を通して基礎的な指導技術を習得する。						
評価方法	討議への参画 (10%)・リアクションペーパー (20%)、研究発表 (30%)、ゼミ論文 (40%)						
評価基準	討議への参画：研究発表に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 リアクションペーパー：論題について発表内容をふまえて論理的に考察できているか。 研究発表：研究内容を論理的に論述、考察し、説得力のある発表になっているか。 ゼミ論文：先行研究の検討、研究課題の設定、研究方法、内容が論文の技法に即して適切であるか。書式や提出期限を守っているか。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	ゼミ論文の書き方、研究倫理	発表・解説・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成
2	ゼミ論文中間発表と討議 (1)	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成
3	ゼミ論文中間発表と討議 (2)	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成
4	ゼミ論文中間発表と討議 (3)	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成
5	ゼミ論文中間発表と討議 (4)	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成
6	ゼミ論文中間発表と討議 (5)	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	ゼミ論文中間発表と討論(6)	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成
8	開発教育ワークショップの準備	ディスカッション・リアクションペーパー	解説の要約、教材の準備
9	開発教育ワークショップの実践	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	教材の準備、論文の作成
10	ゼミ論文発表と討論(1)	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成
11	ゼミ論文発表と討論(2)	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成
12	ゼミ論文発表と討論(3)	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成
13	ゼミ論文発表と討論(4)	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成
14	ゼミ論文発表と討論(5)	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成
15	ゼミ論文発表会、リフレクションタイム	発表・ディスカッション 学修成果の振り返り	ポートフォリオ記入 発表の準備、論文の作成

テキスト	特になし。適宜、プレ・ゼミナールおよびゼミナールIで使用したテキストを参照する。		
参考書	小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書) 『杉村ゼミ論文集』		
その他 特記事項	ゼミ生には討議への活発な参加を求める。発表の1週間前までに原稿を教員に提出し、添削を受けること。		

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	狩野 晶子
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4203	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	コミュニケーション型言語教育、言語習得、児童英語教育、応用言語学						
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をなろう、言葉を教えるとは」を大テーマに、言葉の教育、習得、運用の観点から言葉と人との関わりを扱う。プレゼミでは各自が自ら興味のあるテーマで研究を進める土台づくりとなる知識を応用言語学の観点から学び、そこから幅広く発展する分野の知識と関心を深め、2年次のゼミナールへの土台となる力を養う。						
達成目標	興味関心のあるテーマについて文献を読み、文献資料に基づいて発表を行い、質疑応答ができるようになる。さまざまな関連テーマの内容について読み、調べ、発表することを通して言語学と言語習得の基礎について学ぶ。発表を通して効果的なプレゼンテーションのスキルを学ぶ。グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養う。						
到達目標	グループや個人での発表を通して、発表準備の手順を学び、聞き手にわかりやすく伝わる発表に不可欠な要素について体得する。資料を読み、理解を深め、内容をアウトラインとしてまとめレジュメを作成する過程で専門知識を深める。他の学生の発表を聞き的確な質問やコメントができるよう、聞く際のポイントを学び、実践する。						
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢 (30%)、②リアクションペーパー及び相互フィードバック (30%)、③グループおよび個人プレゼンテーション (20%)、④期末課題 (20%)。						
評価基準	別記載欄を参照のこと。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	ガイダンス 発表グループと分担決め	講義、 グループワーク	テキスト①通読
2	テキストの読み進め方、具体的な発表の手法、研究倫理	グループワーク	テキスト①通読 発表準備
3	テキストをもとに発表・ディスカッション (1)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
4	テキストをもとに発表・ディスカッション (2)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
5	テキストをもとに発表・ディスカッション (3)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
6	テキストをもとに発表・ディスカッション (4)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
7	テキストの総括、ブックレポートについて発表の進め方の指導	講義、講評、 ディスカッション	相互フィードバック準備 リアクションペーパー
8	ブックレポート発表・ディスカッション (1)	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
9	ブックレポート発表・ディスカッション (2)	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
10	ブックレポート発表・ディスカッション (3)	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
11	次年度ゼミに向けて興味・関心のある分野を考える	グループワーク、 講義、発表、講評	ブックリスト提出準備 リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	次年度ゼミに向けて興味・関心のある分野・ブックリストの発表（1）	グループワーク、講義、発表、講評	発表準備、ブックリストリアクションペーパー
13	次年度ゼミに向けて興味・関心のある分野・ブックリストの発表（2）	グループワーク、講義、発表、講評	発表準備、ブックリストリアクションペーパー
14	次年度ゼミに向けて興味・関心のある分野・ブックリストの発表（3）	グループワーク、講義、発表、講評	発表準備、ブックリストリアクションペーパー
15	振り返りとまとめ、[リフレクション・タイム（ポートフォリオ記入）]	振り返り活動、教員による個別面談	総括（レポートとして提出）

テキスト	白井恭弘『ことばの力学—応用言語学への招待』（岩波書店）
参考書	上智大学 C LT プロジェクト・編『コミュニケーションな英語教育を考える：日本の教育現場に役立つ理論と実践』（アルク）
その他 特記事項	このゼミに参加する者は積極的にサービスマーケティング活動に参加し、理論と実践の両方から学ぶ上智大学短期大学部ならではのメリットを最大限に活用することを推奨する。

科目名	SES200: ゼミナール I					担当教員	狩野 晶子
開講期	春	開講時限	水 4 限	研究室	4203	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	コミュニケーションな言語教育、言語習得、児童英語教育、応用言語学						
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をならう、言葉を教えるとは」を大テーマに、言葉の教育、習得、運用の観点から言葉と人との関わりを扱う。プレゼミで学んだ基本的な知識をベースに、卒業課題となるゼミ論文作成へつながる個人のテーマを決め、内容を絞り込み深めてゆき、ゼミ II での発表、論文作成に向け準備を整える。						
達成目標	各自の研究テーマについて研究調査の基本的な進め方を体得する。文献の探し方、引用の仕方、研究倫理を学び、資料を読み、理解し、内容について要旨をまとめる。発表を通じて効果的なプレゼンテーションのスキルを学ぶ。発表、ディスカッション、グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養う。						
到達目標	各自が興味関心のあるテーマについて文献を調べ、聞き手がその内容を理解し関心を共有できる発表と質疑応答を行う。発表者は担当箇所について十分に理解を深め、さらに他の文献・資料にもあたりレジюмеを作成し発表準備を行う。聞く側は発表に基づいた的確な質問、コメントができるよう、聞く際のポイントを学び、実践する。発表の内容をもとにディスカッションを行う手法を学び、実践する。						
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢 (30%)、②リアクションペーパー及びフィードバック (30%)、③プレゼンテーション (20%)、④期末課題 (20%)						
評価基準	別項に記載あり、参照のこと。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	プレゼミ概観 各自が興味のあるテーマを考える	グループワーク	プレゼミテキスト復習 テーマ予備調査
2	各自が興味のあるテーマを調べ、深める 文献の探し方、研究倫理指導	グループワーク 適宜図書館等を利用	テーマ探し、文献検索 ブックリスト作成
3	プレゼンテーションスキルの具体的指導	講義、実践指導 学生フィードバック	ポイント要約 発表準備
4	学生によるプレゼンテーション・ディスカッション (1)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
5	学生によるプレゼンテーション・ディスカッション (2)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
6	学生によるプレゼンテーション・ディスカッション (3)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
7	学生によるプレゼンテーション・ディスカッション (4)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
8	プレゼンテーションの反省 各自のテーマの方向性の検討	省察、相互評価、 ディスカッション	リアクションペーパー
9	各自のテーマを深め、調べる	個別活動、面談 (教員による個別指導)	各自テーマを調べる
10	各自のテーマ・調べた内容について発表 とディスカッション (1)	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	各自のテーマ・調べた内容について発表とディスカッション（2）	学生発表、相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
12	各自のテーマ・調べた内容について発表とディスカッション（3）	学生発表、相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
13	各自のテーマ・調べた内容について発表とディスカッション（4）	学生発表、相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
14	テキスト発表準備 [夏合宿にて発表]	ディスカッション、グループワーク	テキストを読み、アウトライン作成準備
15	ゼミⅠの総括「リフレクションタイム（ポートフォリオ記入）」 ゼミⅡでの論文作成に向け目標設定	省察、相互評価、ディスカッション	テーマに沿って発表アウトライン作成

テキスト	なし。プレゼミにて指定した下記テキストを継続使用。 （白井恭弘『ことばの力学—応用言語学への招待』（岩波書店））		
参考書	上智大学 C LT プロジェクト・編『コミュニケーションな英語教育を考える：日本の教育現場に役立つ理論と実践』（アルク）		
その他 特記事項	このゼミに参加する者は積極的にサービスマーケティング活動に参加し、理論と実践の両方から学ぶ上智短期大学部ならではのメリットを最大限に活用することを推奨する。		

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	狩野 晶子
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4203	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	コミュニケーション型言語教育、言語習得、児童英語教育、応用言語学						
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をなろう、言葉を教えるとは」を大テーマに、プレゼミとゼミ I で学んだ知識をベースに、各自が設定したテーマを調べ、発表の過程を通して内容をまとめ、卒業課題となるゼミ論文を完成させる。研究内容を学術論文の体裁に従ってまとめる具体的方法と、研究倫理、効果的なプレゼンテーションのスキルを併せて学ぶ。						
達成目標	各自の研究テーマについて研究調査を進め、学術論文としての体裁を整えたゼミ論文を作成する。そのゼミ論文のアウトラインをゼミ最終発表として、パワーポイントスライドショー形式で他のゼミ生の前で発表する。発表、ディスカッション、グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養う。						
到達目標	各自の研究テーマに沿って学びを深め、構成や書式などの基本的な規定を守ったうえで、他のゼミ生が内容を理解し関心を共有できるようなゼミ論文を書く。最終発表としてゼミ論文の概要を短く適切にまとめ、ヴィジュアル資料を活用し、聞か者にわかりやすく発表する。他者の発表を聞き的確な質問、コメントをする力を養う。今後の進路に向け、自律的、主体的学習者としての意識を持ち、実践する。						
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢 (30%)、②リアクションペーパー及びフィードバック (20%)、③プレゼンテーション (20%)、④期末課題 (ゼミ論文) (30%)。						
評価基準	別項に記載あり、参照のこと。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	論文作成に向け進捗状況と課題点の確認	グループワーク 教員との個別相談	プレゼミテキスト復習 テーマアウトライン準備
2	論文作成に向け各自のテーマについてグループディスカッション、コメント	グループワーク	文献研究 テーマアウトライン準備
3	論文作成に向け各自のテーマに従って準備、研究倫理	個別活動 教員との個別相談	文献研究 テーマ概要発表準備
4	論文作成に向け各自のテーマの概要を発表、ディスカッション	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー
5	論文作成に向け各自のテーマの概要を発表、ディスカッション	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー
6	最終プレゼンテーション (論文報告) 準備 (1)	個別活動、面談 (教員による個別指導)	発表準備 リアクションペーパー
7	最終プレゼンテーション (論文報告) 準備 (2)	個別活動、面談 (教員による個別指導)	発表準備 リアクションペーパー
8	最終プレゼンテーション (論文報告) 準備 (3)	個別活動、面談 (教員による個別指導)	発表準備 リアクションペーパー
9	学生による最終プレゼンテーション・論文作成 (1)	学生発表、相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
10	学生による最終プレゼンテーション・論文作成 (2)	学生発表、相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	学生による最終プレゼンテーション・論文作成（3）	学生発表、相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
12	学生による最終プレゼンテーション・論文作成（4）	学生発表、相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
13	学生による最終プレゼンテーション・論文作成（5）	学生発表、相互評価、講評	論文初校提出準備
14	論文初校提出：相互校正	相互校正、相互評価	論文初校修正、最終稿へ向け修正方針をまとめる
15	論文初校修正方針の確認、ゼミ総括「リフレクションタイム（ポートフォリオ記入）」	振り返り活動、ディスカッション	論文最終稿提出準備

参考書	①上智大学 C LT プロジェクト・編『コミュニケーション型英語教育を考える：日本の教育現場に役立つ理論と実践』（アルク） ②白井恭弘『ことばの力学—応用言語学への招待』（岩波書店）
その他 特記事項	このゼミに参加する者は積極的にサービ斯拉ーニング活動に参加し、理論と実践の両方から学ぶ上智大学短期大学部ならではのメリットを最大限に活用することを推奨する。

科目名	SES200: ゼミナール I					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	水 4 限	研究室	4211	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	Peace, nonviolence, conflict resolution, reconciliation, environmental protection, peace building						
授業の概要	This course introduces fifteen great peacemakers: their life, message and philosophy. It focuses on the following five areas: nonviolence, living peace, honoring diversity, valuing all life, and caring for the planet. Students are expected to study in detail about one of the peacemakers and make a PowerPoint presentation in class. Students are also expected to write a short research thesis on a topic of their choice which is related to peace.						
達成目標	The general goals of this course are to introduce various concepts of peace, to learn how peace can be achieved through philosophy, politics, religion, music, social service, education, dialogue, science, literature, sustainable development and environmental protection. Another important goal of this course is to learn the skills to read academic articles, summarize main points and make a PowerPoint presentation. Finally, in this course students will learn to write a short research thesis.						
到達目標	By the end of this course, students will <ul style="list-style-type: none"> • know different concepts of peace, various ways of building and maintaining peace • be able to write a short research paper on topics related to peace based on research ethics • be able to make a presentation of the result of their research using PowerPoint • be able to participate in a discussion actively 						
評価方法	Class participation (40%), Presentation about a peacemaker (20%), Research paper (40%)						
評価基準	To be distributed at the first class.						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course, class policies, learning materials, and research ethics	lecture, discussion, Q&A	purchase the textbook (TB)
2	Nonviolence: Nonviolent resistance (Mahatma Gandhi)	lecture, reading, discussion, Q&A	read TB pp. 11-18, and prepare for discussion
3	Nonviolence: Daring to dream (Martin Luther King, Jr.)	lecture, mini test, Q&A reading, discussion	read TB pp. 19-26, prepare for discussion and mini test
4	Nonviolence: Living deliberately (Henry David Thoreau)	lecture, mini test, Q&A reading, discussion	read TB pp. 3-10, prepare for discussion and mini test
5	Living peace: Living peace (Mother Theresa)	lecture, mini test, Q&A reading, discussion	read TB pp. 37-44, prepare for discussion and mini test
6	Living peace: Being peace (Thich Nhat Hanh)	lecture, mini test, Q&A reading, discussion	read TB pp. 45-52, prepare for discussion and mini test
7	Living peace: “Us” refers to all of humankind (Oscar Arias)	lecture, mini test, Q&A reading, discussion	read TB pp. 61-67, prepare for discussion and mini test
8	Honoring diversity: Interfaith Harmony (Bruno Hussar)	lecture, mini test, Q&A reading, discussion	read TB pp. 71-78, prepare for discussion and mini test
9	Honoring diversity: Universal compassion (The Dalai Lama)	lecture, mini test, Q&A reading, discussion	read TB pp. 95-101, prepare for discussion and mini test
10	Valuing all life: Realizing our humanity (Jane Goodall)	lecture, Q&A, mini test, reading discussion	read TB pp. 129-135, prepare for discussion and mini test

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	Research presentation by students	mini test, presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and mini test
12	Research presentation by students	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and mini test
13	Research presentation by students	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and mini test
14	Research presentation by students	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and mini test
15	Conclusion, reflection time, Submission of research paper	discussion, Q&A	submit research paper

テキスト	Ken Beller, Heather Chase. <i>Great Peacemakers: True Stories from Around the World</i> (LTS Press).
参考書	David P. Barash. <i>Introduction to Peace Studies</i> (Wadsworth Publishing Company).
その他 特記事項	Research paper must be submitted in the last class of the semester.

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	飯田 純也
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4216	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	peace, negative & positive peace, diplomacy, negotiation, balance of power, deterrence						
授業の概要	This course introduces strategies and theories for preventing wars, and building peace. Specific strategies for building “negative peace” such as diplomacy, negotiations, conflict resolution etc., are dealt with in this course. Means for building “positive peace” such as promotion of human rights, environmental protection, economic well-being, promotion of nonviolence etc., are also introduced.						
達成目標	The general goal of this course is to focus on the strategies to prevent wars and conflicts through building negative and positive peace. Students will also do personal research based on research ethics throughout the semester on a topic related to peace which will be submitted as their graduation thesis.						
到達目標	<p>By the end of this course, students will</p> <ul style="list-style-type: none"> • have mastered some of the strategies for preventing wars and building peace • have developed skills to do an independent research project • be able to participate in a discussion constructively • be able to extract ideas and information by reading books and articles for their project • have acquired the skills necessary to make a presentation using PowerPoint effectively 						
評価方法	Class participation (30%), Presentation of research proposal (20%), Seminar thesis (50%)						
評価基準	<p>Class participation : 30%</p> <p>Mini tests (10%)</p> <ul style="list-style-type: none"> • accuracy of answers • completeness of answers • ability to express oneself in English • ability to summarize the key points <p>Discussion, group work and other in-class activities (10%)</p> <ul style="list-style-type: none"> • do personal research and collect material for discussion and group work • prepare one’s opinion in 100 words for discussion • active participation in discussion and group work • cooperation with other group members • ability to use appropriate vocabulary and grammar • ability to express critical thinking • ability to express one’s opinion logically and systematically • ability to separate facts from opinion • Q&A <p>Reaction paper (10%)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ability to understand the key point of lecture • ability to write systematically and critically • ability to separate opinion from facts • clarity of expression and language <p>Presentation of research proposal : 20%</p> <ul style="list-style-type: none"> • appropriateness of research methodology • relevance of the research topic • appropriate research materials • organization and clarity of ideas • logical presentation • ability to answer questions correctly • systematic preparation of the handouts 						

	<p>Thesis : 50%</p> <ul style="list-style-type: none"> • review of previous literature on the topic • ability to analyze information and data critically • structure of the thesis, paragraph formation • clarity of ideas and logical presentation • ability to write thesis statement, topic sentence and supporting sentences • completeness • accuracy of the language
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Introduction: course materials and class policies; research ethics	lecture, reading, discussion, Q&A	prepare a short presentation of the progress of your research
2	Traditional paths to coping with conflict	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
3	Deterrence: arguments in favor of deterrence	lecture, reading, mini test, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion and mini test
4	Deterrence: arguments against deterrence	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
5	Traditional paths to preventing conflict	lecture, reading, mini test, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion and mini test
6	The path of preventive diplomacy	lecture, presentation, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
7	Path of disarmament and arms control	lecture, presentation, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion and presentation
8	Path of removing fundamental causes of war	lecture, presentation, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion and presentation
9	Alternative paths to coping with conflict	lecture, presentation, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion and presentation
10	Path of alternative defense	lecture, presentation, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion and presentation
11	Research presentations by students	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
12	Research presentations by students	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
13	Research presentations by students	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
14	Research presentations by students	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
15	Reflection time: recap, course evaluation, writing learning portfolio	lecture, discussion, Q&A	submit seminar thesis

テキスト	Materials adapted from the following textbook will be used in class. Richard Smoke with Willis Harman. <i>Paths to Peace: Exploring the Feasibility of Sustainable Peace</i> (Institute of Noetic Science Westview Press).
参考書	David P. Barash. <i>Introduction to Peace Studies</i> (Wadsworth Publishing Company).
その他特記事項	担当教員の Thomas 先生が海外留学により休職するため、2017 年度に限り飯田先生が代行する。

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	岩崎 明子
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4213	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	環境、教育、水問題、貧困、戦争、平和						
授業の概要	この授業ではグローバル・リテラシーの能力を言語面と国際問題（グローバル問題）に焦点を当てて学習していく。グローバル問題は、各国の人々が地球全体の問題として緊急に解決しなければならない問題であり、グローバル問題を理解するために、様々な事柄に関連する背景知識を教養として知っていく。また、問題意識を高める記事の読書は英文を含めて行っていくので、このプレゼミでは英語で聞く読む技能を磨きながら興味ある研究課題を探し、調べ、発表する方法で学習を進めていく。						
達成目標	グローバル問題を題材にしながら、問題意識を高め、研究課題の調査・まとめ・発表の共同研究を行う力をつける。						
到達目標	①テキストに基づき、グローバル問題を調べ、発表し、質疑応答やディスカッションを通して、クラスで問題を考察する力をつける。 ②英語文献を読み、ニュースを聴く力をつけるとともに関連英語の語彙を増やす。 ③共同研究を通し、資料収集方法や研究倫理、文書のまとめ方、発表方法を学ぶ。						
評価方法	討論へ参画、コメントシート（30%）、英文講読（25%）、研究発表（20%）[2 回]、中間レポート（10%）・期末レポートと発表（15%）						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> * 討論への参画：研究発表に対し、課題への問題意識を持ち、積極的に批判的に討議できているか。また、各回のコメントシート CS（授業の準備、授業を通しての考察）が論理的に述べられているか。 * 英語文献の講読：英語文献の内容を的確に把握し、語彙を習得できたか。 * 研究発表：(1) テキスト内容を理解し、文献調査や、レジメの作成などが的確にできたか。(2) 中間レポートの主題にそってサブトピックを選び、文献調査をし、レジメを作成し論理的な発表ができたか。期末発表ではパワーポイントを使用し、研究の概要説明ができたか。 * 中間・期末レポートは授業で扱ったテーマと関連する興味ある題材を選びグローバルな社会問題について研究し、中間レポートは関連する資料を参照し 2,000 字以上に論理的にまとめることができたか。期末レポートは関連する文献資料を 2 冊以上読んで 4,000 字以上に小論文形式で論理的にまとめることができたか。 						
準備学修の時間	本科目の一回（90 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	グローバル・リテラシーとグローバル問題、サステナビリティとは	講義 グループ決め	2015-2030 の Global Goals の資料を読む。
2	共同研究のやり方、レジメの書き方、コメントシートの書き方、研究倫理	講義、討議	論文の書き方と研究倫理について読み考えをまとめる
3	地球温暖化：原因と結果、問題解決のために	発表、質疑応答、ディスカッション	Ut.2 地球温暖化、を読み CS を書く。発表準備
4	水の問題—飲料水の確保：水争奪戦争、水資源	発表、質疑応答、ディスカッション	Ut.3 飲料水の確保、を読み CS を書く。発表準備
5	貧困と飢餓：貧困問題は人が生み出すもの？	発表、質疑応答、ディスカッション	Ut.4 貧困と飢餓、を読み CS を書く。発表準備
6	グローバル化と疫病：鳥インフルエンザ、エボラウイルス	発表、質疑応答、ディスカッション	Ut.5 病との戦い、を読み CS を書く。発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	教育とジェンダー： 開発教育、女性のエンパワーメント	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.1 教育とジェンダーを読み CSを書く。発表準備
8	グローバリゼーションとテロリズム	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.6 テロリズム、を読み CS を書く。発表準備
9	平和と紛争の問題（1） 核兵器	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.8 核兵器、を読み CS を 書く。発表準備
10	平和と紛争の問題（2） －なぜ大量虐殺は起こったのか－	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.9 カンボジア大量虐殺、 を読み CS 書く。発表準備
11	平和と紛争の問題（3） －難民問題とは－	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.11 難民、を読み CS を書 く。発表準備
12	平和と紛争の問題（4） －平和のために非暴力で戦った人々①	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.12 マンデラ、を読み CS を書く。発表準備
13	平和と紛争の問題（5） －平和のために非暴力で戦った人々②	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.13 アウン・サン・スー・チ ーを読み、CS を書く。発 表準備
14	期末課題レポートの発表	発表、質疑応答 記録	* 期末課題、記録シート提 出、学期の振り返り提出
15	2年生のゼミ論発表への参加、リフレクシ ョンタイム、学修ポートフォリオ作成	記録、質疑応答	質問の準備、記録シート提 出

テキスト	達川奎三、ウォルター・ディビス（2014）『Global Issues Towards Peace - DVD で学ぶ共存 社会－グローバル時代を考える（南雲堂）、他ハンドアウト
参考書	東海大学教養学部国際学科編（2013）『第 4 版国際学のすすめ－グローバル時代を生きる 人のために』（東海大学出版会）
その他 特記事項	ゼミ生にはグローバル問題に関心を寄せ、問題意識を高めること、および、ゼミの討論 への積極的な参加を望む。

科目名	SES200: ゼミナールI					担当教員	岩崎 明子
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4213	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	グローバル問題、持続可能な世界、平和構築、多文化間の対話						
授業の概要	前半では、英語の文献から「持続可能な世界」をつくるために人類はどのような課題を抱えているのかを大まかにつかんでいく。後半では『第4版国際学のすすめ—グローバル時代を生きる人のために』の輪読を通してグローバル時代の問題について考える。その作業には、文献（日本語、英語）の要点を的確につかみ、問題の要点を解りやすく整理したレジメを作成し、発表するという技術を学んでいく。これを通して、秋学期のゼミ論のテーマを絞り準備する。						
達成目標	「持続可能な世界」を可能とするために、世界の抱える課題と解決への様々なチャレンジを英文資料を通して知る。さらに、論文読解を通してグローバル時代の様々な次元の様相をつかみ、その問題点を把握しつつわたしたちの周囲の問題に照らして自分の生き方を考えていく。						
到達目標	文献を読み、まとめることで、テーマに関する教養をつけるだけでなく、問題点の指摘や考察・分析の結果、自分の意見を的確に述べられるようになる。アカデミックな様式で、レジメやレポートの作成を行えるようになる。						
評価方法	発表1 (20%)、発表2 (20%)、討論参加・提出物 (15%)、課題レポート (25%)、新聞記事ノート (20%)						
評価基準	発表：テキストを熟読し、内容をまとめ、レジメを準備し、教員と事前打ち合わせをして、発表できたか。また、質疑応答に備え、発表後の討論のテーマの準備と司会がうまくできたか。 提出物：アカデミックな様式で、レジメやレポートの作成を行えたか。資料の概要をまとめ、テーマの背景、問題点の考察・分析、自分の意見を的確に述べられたか。 課題レポート：秋の各自の研究課題につながるようなテーマを選択し、十分な資料を読み、まとめ、指定された様式、書式を守り、論理的な考察ができたか。 記事ノート：自分の関心のある記事をスクラップし、まとめと意見を添付したノートを中間期と学期最後に提出できたか。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	目的と概要 / ゼミ論のための自己研究テーマの探し方、決め方、計画、研究倫理	講義、自己紹介	自分の興味関心についてまとめてくる
2	It's All Connected Population Trends, Carrying Capacity, Ecological Footprint	学生の発表、討論 コメントシート	Text pp.21-30 発表の準備
3	It's All Connected Food and Water・Energy	学生の発表、討論 コメントシート	Text pp.33-46 発表の準備
4	It's All Connected Biodiversity and Ocean Planet	学生の発表、討論 コメントシート	Text pp.49-65 発表の準備
5	It's All Connected Health, Education, and Human Rights	学生の発表、討論 コメントシート	Text pp.78-92 発表の準備
6	It's All Connected Economy / Poverty / Conflict	学生の発表、討論 コメントシート	Text pp.105-122 発表の準備
7	人間の安全保障—わたしたちと国際社会をつなぐ視点	学生の発表、討議 コメントシート	テキスト第1部1章を読んで質問票を用意

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	平和構築—戦争で壊された社会を再生するために	学生の発表、討議 コメントシート	2章、テキストを読んで質問票を用意
9	国家と安全保障—軍事力の役割をどう考えるか	学生の発表、討議 コメントシート	3章、テキストを読んで質問票を用意
10	国際開発と援助—経済成長から人々のための社会づくり	学生の発表、討議 コメントシート	4章、テキストを読んで質問票を用意
11	国際政治経済の世界—経済権力と利益の視点	学生の発表、討議 コメントシート	5章、テキストを読んで質問票を用意
12	メディアリテラシー—国際社会の情報を読み解く	学生の発表、討議 コメントシート	6章、テキストを読んで質問票を用意
13	異文化コミュニケーション—多文化間の対話	学生の発表、討議 コメントシート	7章、テキストを読んで質問票を用意
14	ゼミ論文の内容について 資料の選び方、Bibliographyについて	講義、討議	ゼミ論のテーマを選択 資料を探し始める
15	リフレクションタイム（ポートフォリオ記入）、まとめ、夏のゼミ合宿の内容と準備について	講義、グループワーク	課題レポートの提出 記事ノートの提出

テキスト	抜粋ハンドアウト、Benjamin Wheeler, et al. (2006), “It’s All Connected—A Comprehensive Guide to Global Issues and Sustainable Solutions”, Facing The Future: People and the Planet 東海大学教養学部国際学科編（2013）『第4版国際学のすすめ—グローバル時代を生きる人のために』（東海大学出版会）
参考書	戸田山 和久（2012）『新版、論文の教室 レポートから卒論まで』（NHKブックス） 木下是雄（1994）『レポートの組み立て方』（ちくま学芸文庫）
その他 特記事項	ゼミIでは、夏合宿を通して、ゼミ論文のアウトラインの発表と学期の後半に使用した第2部の内容の輪読を行う。

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	岩崎 明子
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4213	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	ゼミ論文の作成法、研究課題の設定、中間発表、公開発表						
授業の概要	今までに学んだ知識を生かし、自分の関心テーマに従って、ゼミナール論文を作成する。毎回の発表では、発表者が自分の研究成果を発表し、参加者全員で課題を討論する。SJ 祭およびゼミ終了日にはゼミ論についての発表をする。						
達成目標	グローバルな世界の問題の中から、選んだ自分のテーマをあらゆる角度から研究し、まとめ、発表し、論文作成をすることが目的である。						
到達目標	①先行研究の検討、研究課題の設定、調査、討論をとおして、論文作成に必要な知識と技術をつける。 ②発表と討論の機会を通して、内容を論理的、批判的に考察する力をつける。 ③論文のテーマにそって論文を完成させる。						
評価方法	討論への参加 (30%)、研究発表 (30%)、ゼミ論文 (40%)						
評価基準	討論参加：発表に対する意見を、論理的、批判的に述べる事ができている。 研究発表：先行研究、テーマ設定、研究方法、内容のまとめが適切にできている。 ゼミ論文：中間発表で述べた課題の目的と内容の展開が適切であり、独自性がある。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	今学期のゼミの進め方、ゼミ論について 研究倫理	講義	ゼミ論の構成を考えてくる
2	ゼミ論文構想の発表とテキストを使った 討論 (1)	学生発表、討論	発表の準備
3	ゼミ論文構想の発表とテキストを使った 討論 (2)	学生発表、討論	発表の準備
4	ゼミ論文構想の発表とテキストを使った 討論 (3)	学生発表、討論	発表の準備
5	ゼミ論中間発表準備 (1)	学生発表、討論	発表の準備
6	ゼミ論中間発表準備 (2)	学生発表、討論	発表の準備
7	ゼミ論構想発表会	学生発表、質疑応答	レジメと発表の準備
8	ゼミ論文中間報告とテキストを使った討 論 (1)	学生発表、討論	発表の準備
9	ゼミ論文中間報告とテキストを使った討 論 (2)	学生発表、討論	発表の準備
10	ゼミ論文中間報告とテキストを使った討 論 (3)	学生発表、討論	発表の準備
11	ゼミ論文中間報告 II とテキストを使った 討論 (1)	学生発表、討論	発表の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	ゼミ論文中間報告 II とテキストを使った 討論 (2)	学生発表、討論	発表の準備
13	ゼミ論文中間報告 II とテキストを使った 討論 (3)	学生発表、討論	発表の準備
14	ゼミ論発表と討議の準備、まとめ	発表と質疑応答 評価	発表の準備、レジメ準備
15	ゼミ論発表 (1・2 年合同授業)、リフレク ションタイム (ポートフォリオ記入)	発表と質疑応答 評価	発表の準備

テキスト	ゼミ論準備資料、ゼミ I で使用したテキスト、その他配布資料
参考書	東海大学教養学部国際学科編 (2013) 『第 4 版国際学のすすめ—グローバル時代を生きる人のために』 (東海大学出版会) 第 2 部 抜粋ハンドアウト、Benjamin Wheeler, et al. (2006), “It’s All Connected—A Comprehensive Guide to Global Issues and Sustainable Solutions”, Facing The Future: People and the Planet

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	水 4 限	研究室	4206	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	Christian humanism, women leaders, leadership, research skills						
授業の概要	This seminar will explore leadership and particularly women in leadership. By using the case of Mother Teresa who started one of the biggest and most effective organizations in the world, we will examine some qualities of successful leadership. We will also look at some Christian ideals that shaped her goals and values. Students will research and extend the topic of women leaders and Christian humanism to questions that interests them in their own life goals.						
達成目標	Students in this course will look at the leadership skills that Mother Teresa used in putting together projects that made a difference in the lives of many poor people and in the world. They will learn how to define topics for further research and ask research questions concerning leadership and women leaders. They will gain the ability to carry out research and express their research findings to others in a clear, compelling, and organized way.						
到達目標	By the end of this class, students will have read, taken notes, and written chapter summaries of a book on Mother Teresa. They will have critically analyzed ideas about leadership and discussed them in English. They will have made presentations on a book chapter and on a research topic related to leadership.						
評価方法	Participation 25%, Homework 25%, Presentations 30%, Final report 20%						
評価基準	Participation will be evaluated on the student's active participation in class activities. Homework (reading notes, summaries, and worksheets) will be evaluated on their completeness and timely submission. Students will do 1 group presentation and 1 individual research presentation. The presentations should follow the guidelines in <i>English Essentials</i> for format and preparation and should demonstrate use of appropriate research sources. The final report will be evaluated on its use of appropriate research sources and on its organization. This includes having an introduction with a thesis statement and a body which supports the thesis statement.						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction- what is leadership? How to take notes and summarize	Lecture, reading, writing	Think and research leaders you admire
2	Chapter 1 Dream It Simple, Say It Strong. Review writing paragraphs	Group work	Prepare <i>MT</i> chapter 1
3	Main idea and details Making presentations	Lecture, group work, previewing next chapter	Prepare English Essentials "Presentation"
4	Chapter 2 To Get to the Angels, Deal with the Devil.	Group presentation	Prepare <i>MT</i> chapter 2
5	Quoting and paraphrasing. Avoiding plagiarism	Pair work, writing	Prepare English Essentials chapters 9 and 10
6	Chapter 3 Wait! Then Pick Your Moment Facts and opinions. Applied Critical thinking	Group presentations, discussion, lecture	Prepare <i>MT</i> chapter 3
7	Chapter 4 Embrace the Power of Doubt	Group presentations, discussion, lecture	Prepare <i>MT</i> chapter 4
8	Writing an opinion essay. Constructing your thesis statement	Lecture, group work, writing	Prepare English Essentials "Essay Writing"
9	Chapter 5 Discover the Joy of Discipline. Doing research	Group presentations, discussion, lecture	Prepare <i>MT</i> chapter 5

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	Research Ethics Education	Lecture, writing	Prepare English Essentials (Chapter 8) “Research”
11	Chapter 6 Communicate in a Language People Understand. Research essay draft	Lecture, video	Prepare <i>MT</i> chapter 6
12	Chapter 7 Pay Attention to the Janitor	Lecture, writing	Prepare <i>MT</i> chapter 7
13	Chapter 8 Use the Power of Silence	Lecture, writing	Prepare <i>MT</i> chapter 8
14	Presentations	Individual presentations and feedback	Prepare presentations
15	Reflection Time (writing learning portfolio)	Feedback, writing	Prepare portfolio sheet
テキスト	Ruma Bose & Lou Faust. <i>Mother Teresa, CEO</i> (Berrett-Koehler Publishers, Inc.). = <i>MT</i>		
参考書	<i>English Essentials: An Academic Skills Handbook</i>		

科目名	SES200: ゼミナール I					担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	水 4 限	研究室	4206	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	Christian Humanism, American and English Ideals, Opinion Essays, Research Skills						
授業の概要	Do English and American cultures present different values from Japanese culture on such topics as helping others, personal responsibility, communication, self-reliance, and debate? In this course students will explore these topics by carefully reading short essays in English and preparing presentations on the topics. They will learn how to find useful source materials and how to write a short research essay expressing their ideas in English on a topic related to the course.						
達成目標	After taking the course, students will be able to do the following: <ul style="list-style-type: none"> - get a deeper understanding of 8 topics related to American and English ways of thinking and explore how these topics relate to Christian humanism - explore the values of Christian humanism in the context of Japanese culture - to express a researched and informed opinion on Christian humanism in the context of contemporary Japanese culture 						
到達目標	More specifically, students will do the following: <ul style="list-style-type: none"> - read short essays on 8 topics related to American and English ways of thinking and identify their main ideas and details as well as to be able to distinguish facts from opinions - practice giving a presentation and preparing appropriate presentation materials - practice finding and evaluating research sources - write a short research essay arguing the student's position on one of the topics related to the course 						
評価方法	Categories Active Participation in class 30%, Presentations 20%, Midterm test 15%, Final research essay 35%						
評価基準	Criteria <ul style="list-style-type: none"> - Active participation in class includes preparing the assigned reading and taking part in group discussions on the reading. - Additionally, students will be responsible for presenting one of the topics to the class and leading the discussion. The presentation criteria follow those in <i>English Essentials</i>. - The multiple choice and short response mid-term will evaluate students' understanding of the topics including main ideas, details, facts and opinions understood as such. - The final research essay will be evaluated on its use of essay format and organization according to <i>English Essentials</i>, and on its skillful use of appropriate research sources. This includes writing a clear thesis statement that is supported by the body paragraphs which contain relevant ideas and details from research sources. 						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction. Topic 1, Altruism: Helping Neighbors in Need. Main idea and details	Lecture, group work, writing	Prepare chapter 1 questions
2	Topic 1, Altruism./ Quoting and paraphrasing Research ethics education	Presentation, group discussion, lecture	Write chapter 1 reading summary
3	Topic 2, Spirit over Matter: What are Humanity, Life, and Death? Describing	Presentation, group discussion, lecture	Prepare chapter 2 questions
4	Topic 2, Spirit over Matter. Facts and Opinions	Lecture, writing	Write chapter 2 reading summary
5	Topic 3, World Stewardship: Western Views of Nature. Constructing a thesis statement	Presentation, group discussion, lecture	Prepare chapter 3 questions
6	Topic 3, World Stewardship: Western Views of Nature. Writing an opinion essay	Lecture, writing	Write chapter 3 reading summary

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Topic 4, Positive Thinking in the Western Mind: Free Access to Wisdom. Test Review	Presentation, group discussion, review	Prepare chapter 4 questions
8	Topic 4, Positive Thinking in the Western Mind. Review. Midterm test	Lecture, review, test	Write chapter 4 reading summary
9	Go over the midterm. Topic 5 Historicism. Types of source documents	Lecture, test review, presentation-discussion	Prepare chapter 5 questions
10	Topic 5, Historicism. Researching: using the library, resources	Lecture, writing	Write chapter 5 reading summary
11	Topic 6, The Sacred Contract: Responsibility in Black and White. Finding models	Presentation, discussion, writing	Prepare chapter 6 questions
12	Topic 6, The Sacred Contract: Responsibility in Black and White. Writing	Lecture, writing	Write chapter 6 reading summary
13	Topic 7, Egalitarianism: An Opportunity for Everyone. Writing in a Network	Presentation, group discussion, mini research presentations	Prepare chapter 7 questions
14	Topic 7, Egalitarianism: An Opportunity for Everyone. Submitting final seminar essay	Lecture, writing	Write chapter 7 reading summary
15	Topic 8, Pragmatism: Asking “So What?” and Anti-Intellectualism. Reflection Time (writing learning portfolio)	Presentation, group discussion, feedback, reflection time	Prepare chapter 8 questions
テキスト	Becker, Carl. <i>American and English Ideals. Revised edition</i> (Eihosha). Original handouts outlining the topics will also be provided by the instructor.		
参考書	石井隆之・土井清孝『キリスト教・ユダヤ教・イスラム教の知識と英語を身につける』(ベレ出版) <i>English Essentials (EE): An Academic Skills Handbook</i>		

科目名	SES300: ゼミナール II					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	水 5 限	研究室	4206	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	Christian Humanism, Social Issues, Environmental Crisis, Research Skills						
授業の概要	This seminar continues the exploration of certain American and British cultural ideals that seem to contrast with some traditional Japanese ideals. Recently our various cultures must more and more respond actively to the global environmental crisis. What approaches constitute a truly human response to this crisis and to other challenges in our contemporary societies?						
達成目標	The goal of this course is for students to deepen their knowledge through a practical research experience. We will continue studying American and English ideals, some of which have been influenced by contact with Christian humanism. Christian humanism, however, is not linked exclusively to any one culture. It can be expressed by any culture that tries to integrate values linked to the teachings and life of Jesus Christ. Students will be exposed to some aspects of Christian humanist thinking and acquire the ability to think about social issues and possible responses. They will acquire the skills to write a clearly expressed and researched opinion on a topic of their choosing related to the topics studied in class.						
到達目標	More specifically, students will do the following: <ul style="list-style-type: none"> - read short essays on 8 topics related to American and English ways of thinking and identify their main ideas and details in summary format - practice giving presentations and preparing appropriate presentation materials - practice finding and evaluating research sources - write a longer research thesis arguing the student's position on one of the topics related to the course 						
評価方法	Categories Participation and group presentation 30%, individual research presentation 30%, research thesis 40%						
評価基準	Criteria <ul style="list-style-type: none"> - Active participation in class includes preparing the assigned reading, writing a summary, and taking part in group discussions on the reading. - Students will be responsible for presenting in a group one of the topics to the class and leading the discussion. The presentation criteria follow those in <i>English Essentials</i>. - Students will prepare an individual presentation on their research topic using the same criteria. - The final research thesis will be evaluated on its use of essay format and organization according to <i>English Essentials</i>, and on its skillful use of appropriate research sources. This includes writing a clear thesis statement that is supported by the body paragraphs which contain relevant ideas and details from research sources. 						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction. Topic 1, Rebellion against Authority. Research ethics education	Lecture, group work	Write summary of reading Prepare a research notebook
2	Topic 2, Traditional Japanese Lifestyle: A Stable Hierarchy of Rice Culture Brainstorming for seminar research thesis	Group presentation, discussion	Write summary of reading
3	Topic 3, Traditional Pioneer Lifestyle: Self-Reliance in Geographic Mobility Outlining for seminar research thesis	Group presentation, discussion	Write summary of reading Continue research
4	Topic 4, Classical Education and Debate: Wrestling with Ideas	Group presentation, discussion	Write summary of reading Continue research
5	Topic 5, Modern Ideals in Education: Memory vs. Information Access	Group presentation, discussion	Write summary of reading

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Topic 6, Ideals of Communication: Implication vs. Feedback	Group presentation, discussion	Write summary of reading
7	Topic 7, Causality and Responsibility: Humans as Autonomous Moral Agents	Group presentation, discussion	Write summary of reading
8	Topic 8, The Environmental Crisis: Lines of Approach and Action. Discussion	Lecture, group work	Read <i>Laudato Si'</i> #163—201 (22 pages)
9	Topic 8, The Environmental Crisis and applied Christian humanism	Lecture, writing	Review discussion notes on <i>Laudato Si'</i>
10	Catching up, / review of essay writing	Lecture, writing	Re-read <i>EE</i> “Essay Writing”
11	Presentation preparation	Preparing presentations, Q and A	Prepare materials and questions for presentations
12	Final presentation: your research findings	Individual presentations Feedback	Prepare research thesis
13	Final presentation: your research findings	Individual presentations Feedback	Prepare research thesis
14	Final presentation: your research findings Seminar Thesis	Individual presentations Feedback	Prepare research thesis
15	Reflection time (writing learning portfolio)	Group sharing, writing	Prepare comments on seminar

テキスト	Becker, Carl. <i>American and English Ideals. Revised edition</i> (Eihosha). Pope Francis, <i>Laudato Si'</i> , <i>Encyclical Letter on Care for Our Common Home, 2015</i> (Available online at http://w2.vatican.va/content/francesco/en/encyclicals/documents/papa-francesco_20150524_enciclica-laudato-si.html)
------	--